

ApeosPort[®]

リファレンスガイド 本体編

本体の基本操作、日常の管理、トラブルの対処方法と、使用上の注意事項を記載しています。

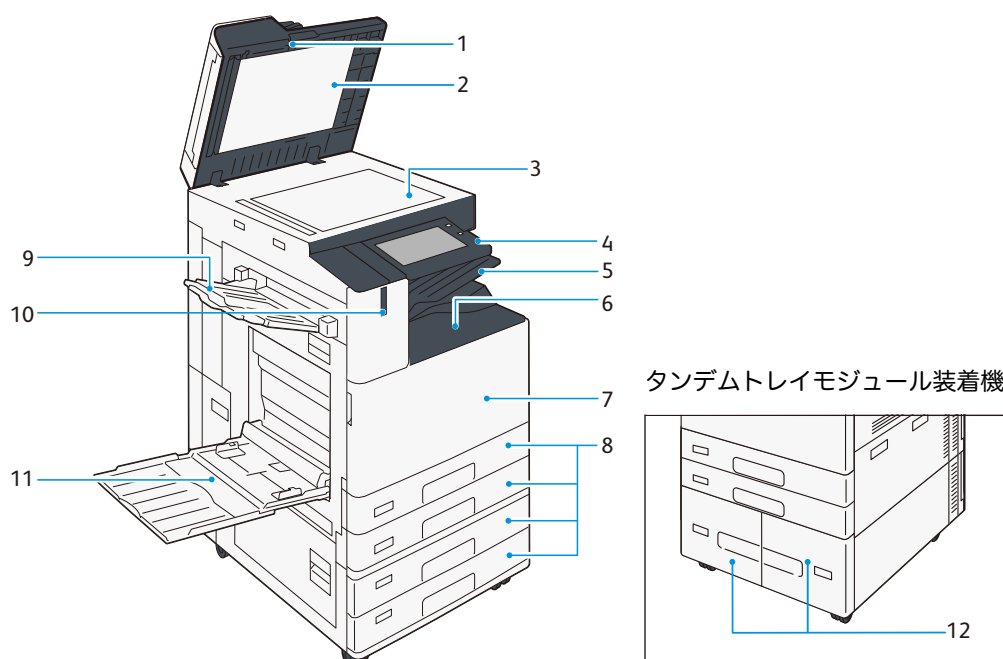
- このマニュアルの編集、変更、または無断で転載はしないでください。
- このマニュアルに記載されている内容は、将来予告なしに変更されることがあります。
- このマニュアルに記載されている画面やイラストは一例です。ご使用の機種やソフトウェア、OSのバージョンによって異なることがあります。

i お使いになる前に

- P.2 各部の名称と働き
P.6 印字領域
P.8 用紙

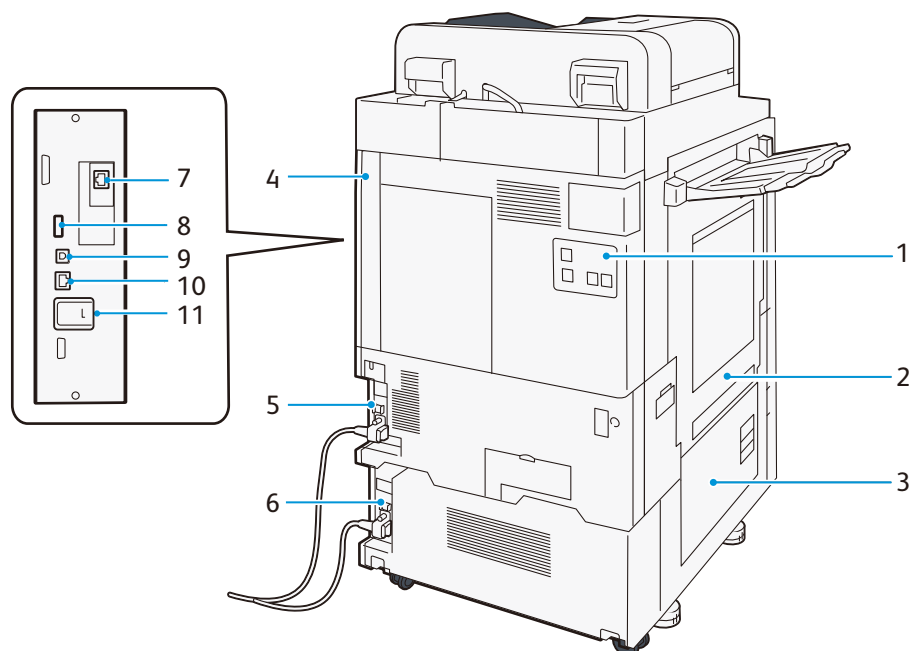
各部の名称と働き

前面



No.	名称	説明
1	自動両面原稿送り装置	原稿をセットします。
2	原稿カバー	原稿を押さえます。
3	原稿ガラス	原稿をセットします。
4	操作パネル	電源を入/切します。操作するためのタッチパネルです。
5	インナー排出トレイ (オプション)	用紙が排出されます。
6	センタートレイ	
7	正面カバー	紙詰まりの処置、および消耗品を交換するときに開きます。
8	標準トレイ (用紙トレイ1、2、3、4)	用紙をセットします。
9	サイドトレイ (オプション)	用紙が排出されます。
10	Smart WelcomEyes (SWE) 人感センサー	ユーザーが検知されると、節電モードが解除されます。
11	手差しトレイ (用紙トレイ5)	用紙をセットします。
12	タンデムトレイ (用紙トレイ3、4)	

左側面部、および背面



No.	名称	説明
1	電話回線接続部	電話やハンドセット（オプション）を使用するときは、「TEL」を使用します。TEL 端子に接続した受話器で通話する場合は、「LINE 1」を使用します。
2	左側面上部カバー	紙詰まりの処置をするときに開きます。
3	左側面下部カバー	
4	右奥カバー	開くと、各コネクタがあります。
5	リセットボタン	漏電を検知すると、自動的に電源を遮断します。
6		
7	ネットワークポート（オプション）	ネットワークケーブルを接続します。
8	USB2.0 コネクタ	メモリーカードリーダー、またはUSB接続オプションや関連商品のケーブルを接続します。
9	USB3.0 コネクタ	プリンター用のUSBケーブルを接続します。
10	ネットワークポート	ネットワークケーブルを接続します。
11	無線キット（オプション）	本機に無線（Wi-Fi/Bluetooth）を接続するときに使用します。

LAN接続

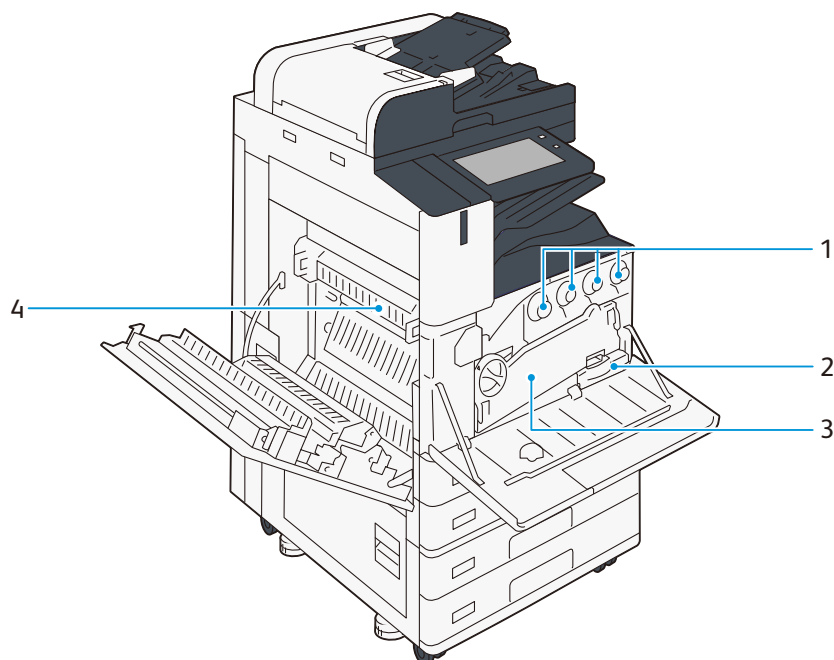
ネットワークポートに接続するときは、電源を切った状態で行います。

💡 補足 接続不良が発生する場合、機械管理者モードで、ホーム画面の [設定] > [ネットワーク設定] > [プロトコル設定] > [Ethernet設定] > [Energy Efficient Ethernet] を [無効] にすると、改善することがあります。

USB 接続

USB コネクタに接続するときは、電源を切った状態で行います。

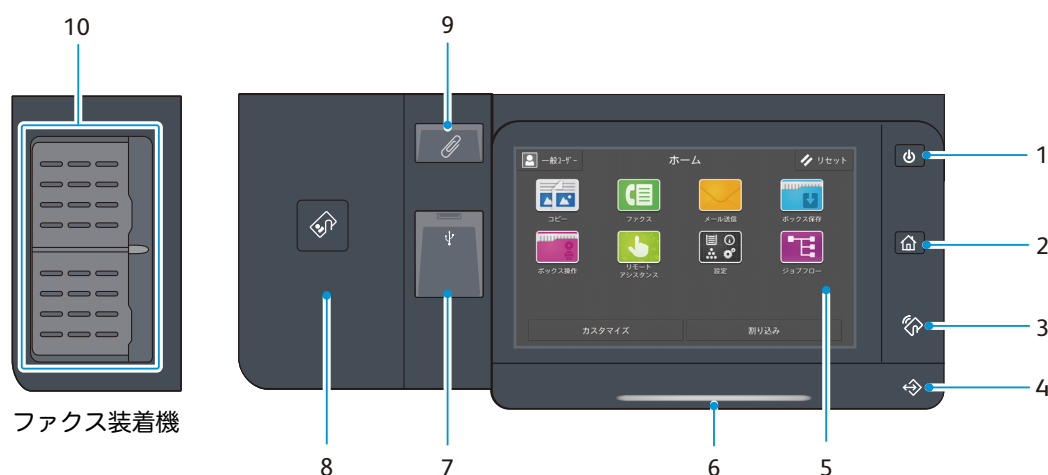
内部



No.	名称	説明
1	トナーカートリッジ	ブラック (K)、シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y) のトナーが入っています。
2	トナー回収ボトル (R5)	使用済みのトナーを回収するボトルです。
3	搬送ボックス	ドラムカートリッジの交換をするときに取り外します。
4	定着装置 (R8)	トナーを用紙に定着させる部分です。 高温なので、手を触れないように注意してください。

操作パネル

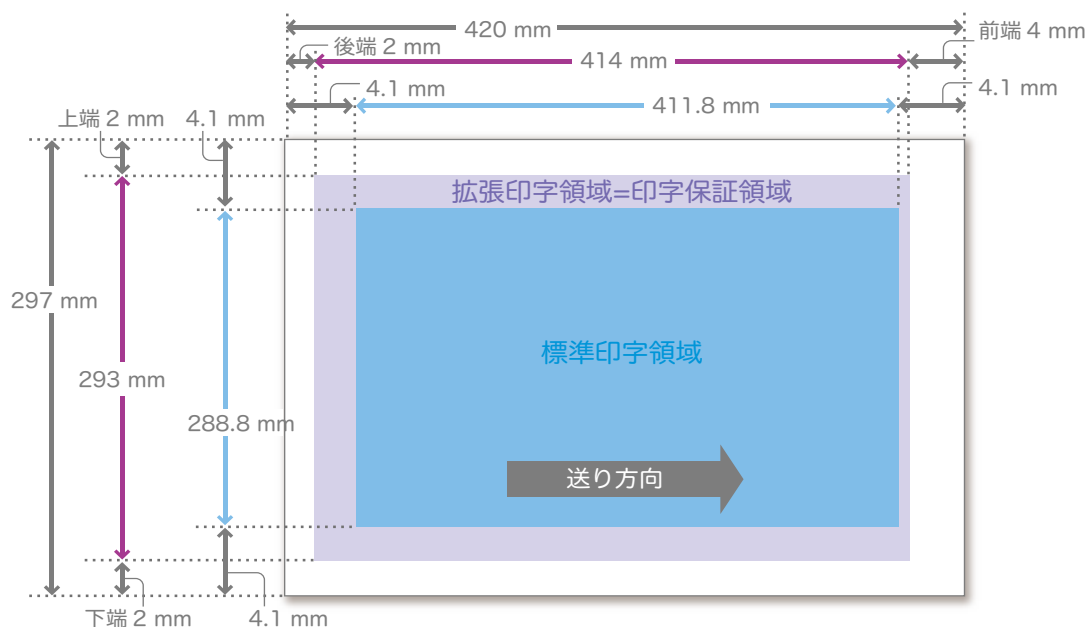
 **参照** 操作パネルについては、『リファレンスガイド 操作編』を参照してください。



No.	名称	説明
1	電源ボタン	電源が入ります。  補足 ■ 「お待ちください...」が表示されているときは、本機のウォームアップ中です。この間は、使用できません。 ■ 電源が入らない場合は、リセットボタンがリセット状態（ボタンが押し込まれている）になっていること、電源プラグが入っていることを確認してください。
2	ホームボタン	ホーム画面が表示されます。
3	NFC タッチエリア	お使いの NFC 対応モバイル機器をかざすエリアです。相互通信するには、本機の NFC 機能が有効になっている必要があります。
4	データランプ	本機からデータを送信中や、クライアントPCからのデータを受信中に、点滅します。また、機械内部に文書を蓄積しているときや、ファクス親展受信文書がボックス内に蓄積されているときは点灯します。
5	タッチパネルディスプレイ	操作に必要なメッセージや各機能のボタンが表示されます。
6	状態表示ランプ	操作を受け付けた瞬間、青色で点灯します。 エラーが起きると、オレンジ色で点滅します。
7	USB メモリー差込口 (オプション)	USB メモリーは直接差し込んでください。  補足 メモリーカードリーダーや USB メモリーのケーブルは接続できません。USB メモリーを接続している場合は、同時にメモリーカードリーダーや USB メモリーを背面の USB コネクターに接続しても認識されません。
8	本体内蔵型 IC カードリー ダー (オプション)	IC カードをタッチすると、認証されます。
9	クリップトレイ	クリップやホチキスの針などを置きます。
10	ワンタッチボタン	宛先をワンタッチで指定できます。宛先指定は、ファクス、インターネットファクス、スキャナー（メール送信）、およびスキャナー（PC 保存）で使用できます。

印字領域

A3サイズ（297×420 mm）の場合



印字保証領域

弊社が画質を保証する領域です。

A3以下		用紙の前後上下の端から画像欠け幅を除いた領域
A3より大きい	コピー	最大：297×432 mm
	プリント	最大：297×476.6 mm

画像欠け幅（mm）

用紙の前後上下の端には、印字できない領域（画像欠け幅）があります。

用紙サイズ	前端	後端	上端	下端
A3以下	4	2	2	2
A3より大きい	4	2	2	
長尺用紙	4	2	309 mmを超える用紙では、（用紙サイズ－305）÷ 2	

標準印字領域

A3以下		用紙の前後上下の端から余白（4.1 mm）を除いた領域
A3より大きい	定形サイズ	最大：305×480 mm
	カスタムサイズ	用紙の前後上下の端から余白（4.1 mm）を除いた領域
長尺用紙		最大：305×1,194 mm

拡張印字領域

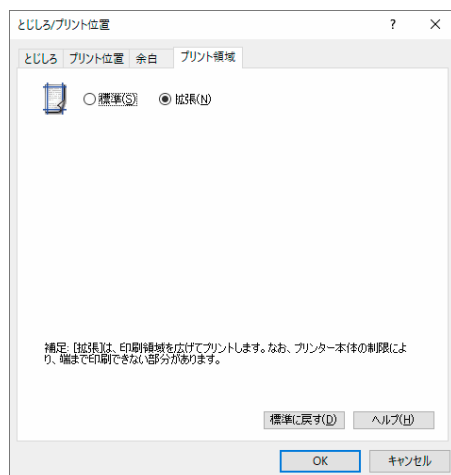
印字領域の設定を変更すると、標準印字領域の余白（4.1 mm）を超えて、印字できます。

A3以下		用紙の前後上下の端から画像欠け幅を除いた領域
A3より大きい	コピー	最大：297×432 mm
	プリント	最大：305×476.6 mm
長尺用紙		最大：305×1,194 mm

拡張印字領域への変更

1. ホーム画面で、機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [アプリ設定] > [プリンター設定] > [その他の設定] > [プリント可能領域] を選択し、[拡張] をタップします。

ART EX プリンタードライバーでも変更できます。



用紙

推奨する用紙

標準紙

用紙名	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙種類別画質処理	用紙坪量
P紙	普通紙	普通紙（A）	64 g/m ²
V-Paper	普通紙	普通紙（A）	64 g/m ²

そのほかの用紙を使用する場合は、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

再生紙

用紙名	用紙トレイに設定する用紙種類	用紙種類別画質処理	用紙坪量	古紙パルプ配合率
C ^{2r}	再生紙	再生紙（A）	70 g/m ²	70%
G70	再生紙	再生紙（A）	67 g/m ²	70%

使用できない用紙

故障の原因になるので、次の用紙は使用しないでください。

- 定着時の熱で変質するインクが使用されている用紙
- インクジェット用紙
- 名刺サイズの用紙
- しわや折りが付いている用紙
- 湿気を含んだ用紙、湿気で波打った用紙
- 12 mm以上カールした用紙
- 感熱紙、熱転写紙
- 窓付封筒

そのほかにも、使用できない用紙があります。詳しくは、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにお問い合わせください。

用紙の保管と取り扱い

用紙の保管

用紙は外気の水分の影響を受けやすく、また衝撃によって変形しやすいため、次のことに注意してください。

- 用紙は、湿気の少ない場所に保管してください。用紙が湿気を含むと、紙詰まりや画質不良の原因となります。
- 低温環境で保管された用紙を使用した場合、定着不良が発生することがあります。用紙は、16℃以上の環境での保管を推奨します。
- 高温高湿の環境で保管されていたコート紙は、ミスフィードや重送を起こすことがあります。
- 開封後、用紙の残りは、防湿性のある包装紙、またはチャック付きポリ袋などで密封して保管してください。
- 用紙は、折れ曲がりを防ぐために、立てかけずに水平に保管してください。
- 直射日光を避けて保管してください。

用紙の取り扱い

- バラバラになった用紙を寄せ集めて使用しないでください。
- しわや折りが付いている用紙は使用しないでください。
- サイズや種類の異なる用紙を重ねてセットしないでください。
- OHP フィルム、フィルム、およびコート紙は、紙詰まりや重送（同時に複数枚の用紙が搬送）されることがあるので、よくさばいてからセットしてください。

ii 本機の基本操作

- P.9 用紙のセット
P.13 原稿のセット
P.16 用紙の排出

用紙のセット

用紙をセットしたときは、ホーム画面で用紙トレイの設定をします。

- ❗ 注記**
- トレイの空きスペースには、用紙や物を置かないでください。紙づまりや故障の原因になります。
 - プリンターがジョブを処理している間は、ジョブで使用している用紙トレイを引き出さないでください。

💡 補足 用紙を用紙トレイにセットする前に、用紙をよくさばいてください。用紙のくっつきをなくして、紙づまりを起こしにくくします。

📖 参照 詳しくは、『リファレンスガイド 操作編』の「基本操作」を参照してください。

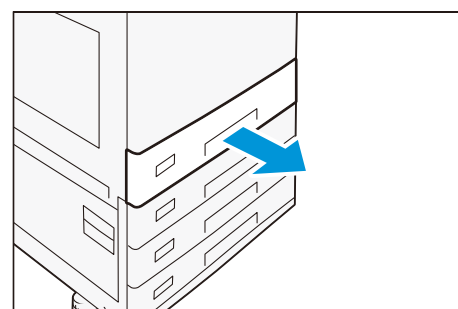
標準トレイ

用紙トレイ1（最上段）～4（最下段）は、給紙方法が同じです。
セットした用紙の上面が印字面になります。

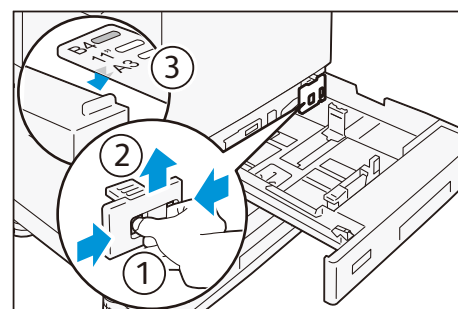
セットできる用紙

用紙サイズ	たて	100～320（トレイ1：297）mm
	よこ	148～457.2（トレイ1：431.8）mm
用紙坪量	片面時	52～300 g/m ²
セット可能枚数		560枚（P紙）

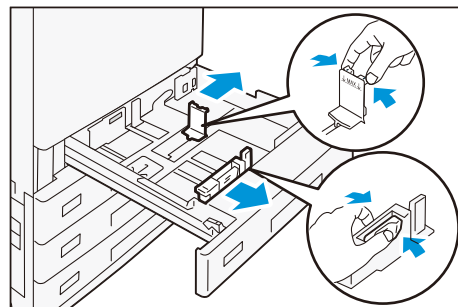
1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



3. JIS B4 以上のサイズの用紙をセットするときは、用紙後端ガイドのつまみを挟んで持ち上げ、表示されたサイズの穴に取り付けます。



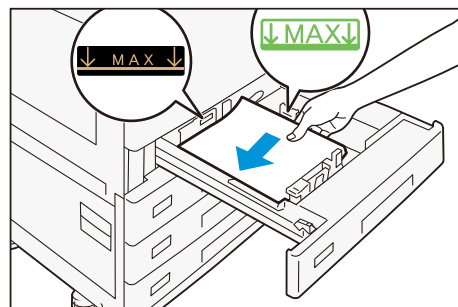
4. 2か所のガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。



5. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。

注記 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

補足 ガイドは、用紙サイズに正しく合わせてください。ガイドの位置がずれていると、用紙が正常に搬送されず、紙詰まりの原因となることがあります。



6. 用紙トレイを押し込みます。

特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が左側

■ はがき

用紙の向き：よこ置き

■ 封筒

オプションの封筒/はがきトレイを装着します。

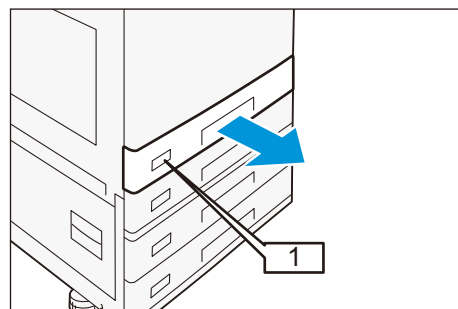
使用できるトレイ：トレイ1

フラップを開いた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが右側

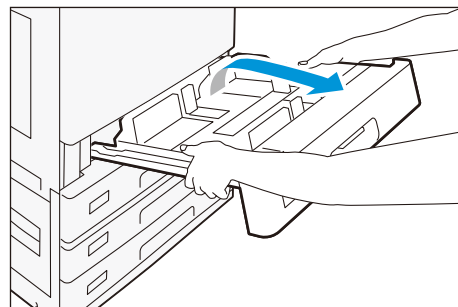
フラップを閉じた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが左側

用紙サイズ	たて	90～241 mm
	よこ	98～372 mm
用紙坪量	封筒	75～90 g/㎡
	はがき	106～220 g/㎡
セット可能枚数		50枚（Ncolor 封筒）

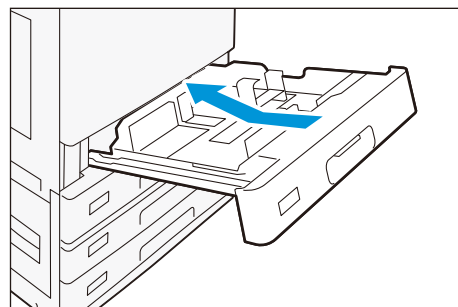
1. 用紙トレイ1を、いっぱいまで引き出します。



2. 用紙トレイ1の手前を少し持ち上げながら、用紙トレイ1を取り外します。



3. 封筒/はがきトレイを押し込みます。
4. ホーム画面で、機械管理者モードにログインします。



5. [設定] > [システム設定] > [その他の設定] > [トレイ1の種別] を選択し、[封筒トレイ使用可能] をタップします。



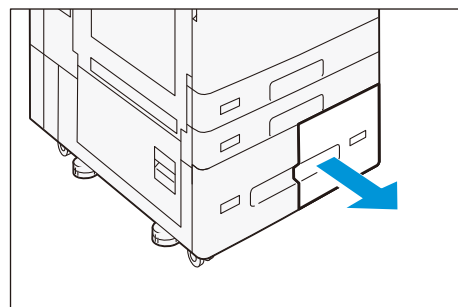
タンデムトレイ

用紙トレイ3（左側）、4（右側）は、給紙方法が同じです。
セットした用紙の上面が印字面になります。

セットできる用紙

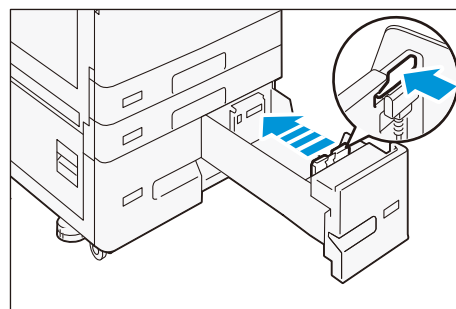
用紙サイズ		JIS B5□、A4□、8.5×11"□
用紙坪量	片面時	52～300 g/m ²
セット可能枚数	トレイ3	980枚（P紙）
	トレイ4	1,280枚（P紙）

1. 用紙トレイをいっぱいまで引き出します。
2. 用紙がセットされている場合は、用紙を取り出します。



3. ガイドクリップを指でつまみ、用紙サイズに合わせます。
4. 用紙をさばき、印字面を上にして、用紙を矢印の方向にそろえてセットします。

注記 用紙上限線を超える量の用紙をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。



5. 用紙トレイを押し込みます。

特殊用紙のセット

■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が左側

手差しトレイ

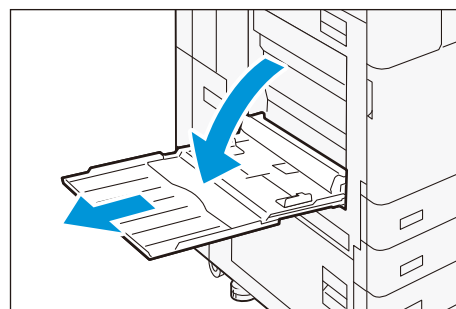
用紙トレイ 5（手差し）では、標準トレイやタンデムトレイで使用できないサイズや種類の用紙も使用できます。

セットした用紙の下面が印字面になります。

セットできる用紙

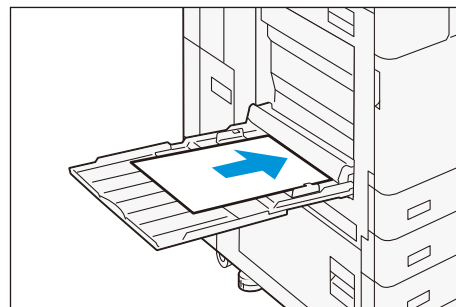
用紙サイズ	たて	88.9～320 mm
	よこ	98.4～1,200 mm
用紙坪量	片面時	52～300 g/m ²
セット可能枚数		100枚（P紙）

1. 用紙トレイを開きます。

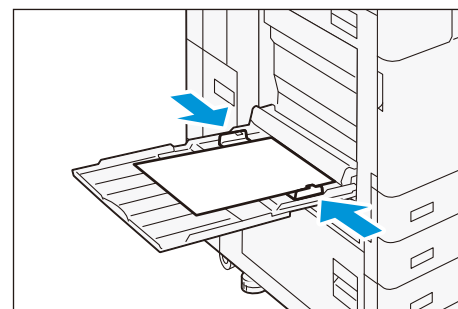


2. 用紙をさばき、印字面を下にして、用紙ガイドに沿って軽く奥に突き当たるまで差し込みます。

注記 用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因になります。



3. 用紙ガイドを調整し、用紙サイズに合わせます。



特殊用紙のセット

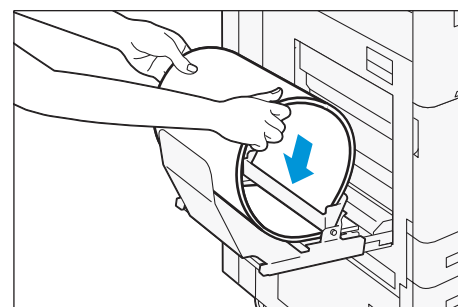
■ 長尺用紙

1枚ずつセットします。

オプションの長尺用紙セットガイドを利用すると、用紙の斜行や落下を防止できます。



参照 長尺用紙セットガイドについては、ガイドに同梱されている『設置手順書』を参照してください。



■ 穴あき紙

用紙の向き：正面に向かって、穴が右側

■ はがき

用紙の向き：よこ置き

■ 封筒

フラップを開いた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが左側

フラップを閉じた状態の用紙の向き：正面に向かって、フラップが右側

原稿のセット

原稿送り装置

セットできる用紙

		B1-PC	C2-PC
用紙サイズ	たて	125～297 mm	139.7～297 mm
	よこ	85～432 mm	84～432 mm
用紙坪量	片面時	38～128 g/㎡	38～200 g/㎡
	両面時	50～128 g/㎡	50～200 g/㎡
セット可能枚数		130枚（P紙）	250枚（P紙）

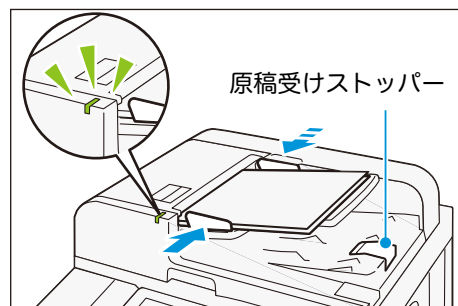
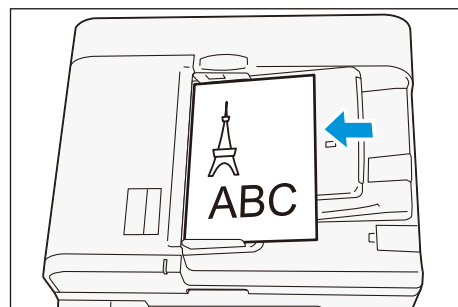
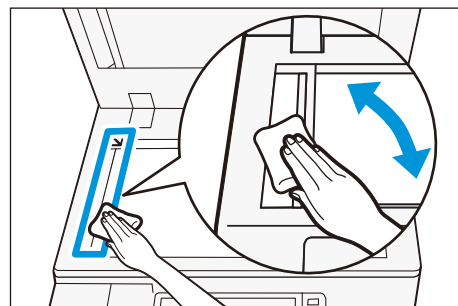


補足 ファクスキットが装着されている場合にセットできる用紙サイズは、よこ：～600 mmです。

1. 原稿カバーを開きます。
2. 原稿ガラスの左側にある、細長いガラスと白いプラスチック部分の汚れをふき取ります。
3. 原稿カバーを閉じます。
4. 原稿にフセン紙やテープ、ホチキスやクリップなどがついていないことを確認し、しわや折りが付いている原稿はきちんと伸ばします。
5. 正しく原稿サイズを検知できるように、原稿の左上の角をそろえます。
6. 読み取る面（両面原稿の場合は、おもて面）を上に向けて、原稿送り装置の中央にセットします。

 **注記** 用紙上限線を超える量の原稿をセットしないでください。紙詰まりや故障の原因となります。

7. 確認ランプが点灯したら、原稿ガイドを移動して、原稿の両側に合わせます。

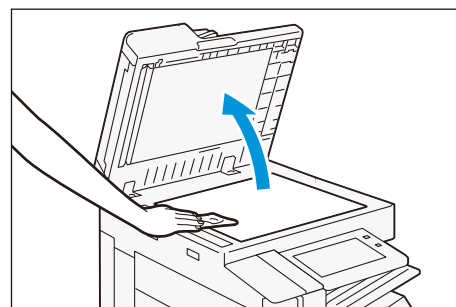


原稿ガラス

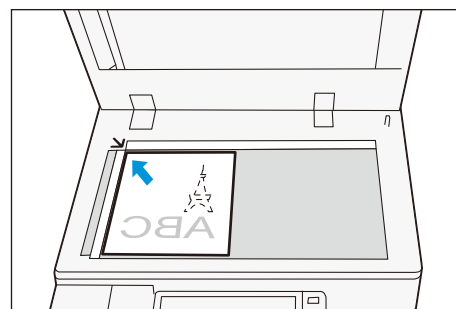
セットできる用紙

用紙サイズ	たて	～297 mm
	よこ	～432 mm

1. 原稿カバーを開き、原稿ガラスの汚れをふき取ります。



2. 読み取り面を下に向けて、原稿ガラスの左上の角に合わせて原稿をセットします。
3. 原稿カバーを閉じます。



用紙の排出

印字面

印字面とは、片面出力時に印字される面（両面出力時の1ページ目）のことです。

サイドトレイ以外：下向き

サイドトレイ：上向き

 **補足** 用紙反転排出はできません。

		片面出力	両面出力
用紙サイズ	たて	88.9～320 mm	128～320 mm
	よこ	98.4～482.6 mm	139.7～482.6 mm
用紙坪量		52～300 g/m ²	

長尺用紙

両面出力はできません。

用紙サイズ	よこ	～1,200 mm
-------	----	-----------

 **補足** 装着されるフィニッシャーの種類によっては、センタートレイに排出できません。

トレイ容量

A4の場合

センタートレイ	インナー排出トレイあり	オフセットなし	400枚
		オフセットあり	200枚
	インナー排出トレイなし	オフセットなし	250枚
		オフセットあり	125枚
インナー排出トレイ	オフセットなし	フィニッシャー A装着機	200枚
		フィニッシャー A装着機以外	250枚
	オフセットあり		125枚
サイドトレイ			100枚

-  **補足**
- 次の条件によって、トレイ容量は異なります。
 - 用紙サイズ、用紙坪量
 - 用紙の種類の違い（コート紙や非コート紙、用紙カール量など）
 - 片面/両面
 - 像密度
 - センタートレイでは、容量が満杯になると自動的に停止します。

オフセット

 **補足** インナー排出トレイのオフセットはオプションです。サイドトレイはオフセットできません。

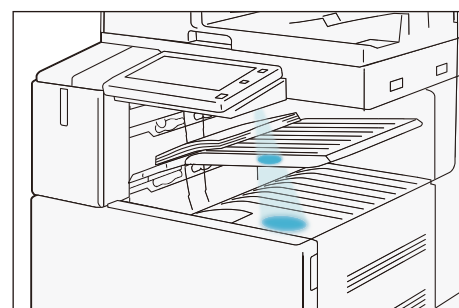
用紙をずらして分けやすく排出されます。
オフセット排出は、プリンタードライバーで設定します。

用紙サイズ	たて	128～297 mm
	よこ	210～432 mm
用紙坪量		52～256 g/m ²

センタートレイお知らせライト

プリント開始後に点滅はじめ、プリント完了後は点灯状態になるため、本機と離れた位置からでもプリントの状況が確認できます。また、センタートレイに排出した用紙が残っているとライトが点灯し続けます。

-  **補足**
- 排出するトレイやフィニッシング方法によって、点滅、点灯しないことがあります。
 - 節電モード時は、点灯しません。



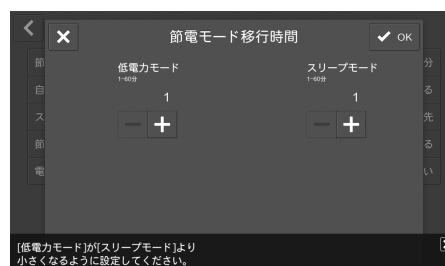
ライトを点灯させない

1. ホーム画面で、機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [システム設定] > [その他の設定] > [センタートレイお知らせライト] を選択し、[無効] をタップします。



ライトの点灯時間の変更

1. ホーム画面で、機械管理者モードにログインします。
2. [設定] > [システム設定] > [節電モードの設定] > [節電モード移行時間] で、[低電力モード]、および [スリープモード] の時間を入力し、[OK] をタップします。



iii 日常の管理

P.18 消耗品

P.24 本体の清掃

消耗品

弊社が推奨する消耗品は、本機に適した規格で作られています。弊社が推奨していない消耗品を使用された場合、本来の品質や性能を発揮できないおそれがあります。本機には、弊社が推奨する消耗品をご使用ください。

消耗品の種類
トナーカートリッジ [K] (ブラック)
トナーカートリッジ [C] (シアン)
トナーカートリッジ [M] (マゼンタ)
トナーカートリッジ [Y] (イエロー)
ドラムカートリッジ (YMCK)
トナー回収ボトル (25～55機)
トナー回収ボトル (65～70機)
スタンプ交換キット

消耗品の取り扱い

- 消耗品の箱は、立てた状態で保管しないでください。
- 消耗品は、使用するまでは開封せずに、次の場所を避けて保管してください。
 - 高温高湿の場所
 - 火気のある場所
 - 直射日光が当たる場所
 - ほこりが多い場所
- 消耗品を使用するときは、消耗品の箱や容器に記載された取り扱い上の注意をよく読んでから使用してください。
- 消耗品は予備を置くことをお勧めします。
- 消耗品の発注は、商品コードを確認のうえ、弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにご注文ください。

消耗品の交換

各消耗品の状況を表示させるには、ホーム画面＞[設定]＞[消耗品確認]をタップします。

消耗品の交換時期になると、タッチパネルディスプレイにメッセージが表示されます。指示された消耗品を交換してください。

消耗品確認		
K	ブラックトナー (K)	100%
C	シアントナー (C)	100%
M	マゼンタトナー (M)	100%
Y	イエロートナー (Y)	100%
	ドラムカートリッジ (R1)	100%
	ドラムカートリッジ (R2)	100%
	ドラムカートリッジ (R3)	100%

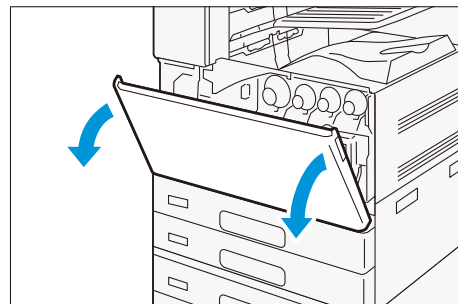
トナーカートリッジ



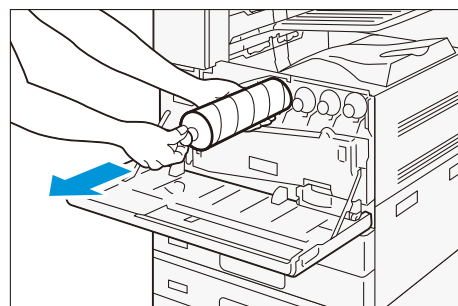
補足

- トナーカートリッジを交換するときは、本機の電源を入れたままの状態にしておいてください。
- トナーカートリッジを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ、床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。

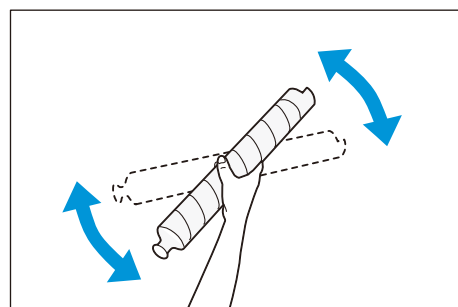
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開きます。



2. 交換するトナーカートリッジの下側を支えて、ゆっくり引き出します。

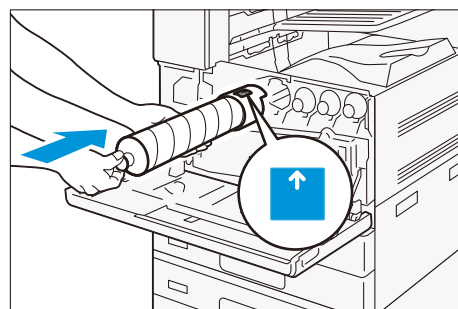


3. 新しいトナーカートリッジを、軽く10回、上下左右に振ります。



4. トナーカートリッジの矢印（↑）部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込みます。

5. 正面カバーを閉じます。



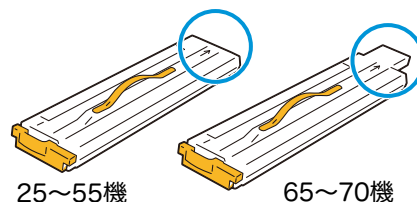
トナー回収ボトル

コピー（またはプリント）後に、ドラムに残ったトナーは、トナー回収ボトルにたまります。トナー回収ボトルは2種類あります。

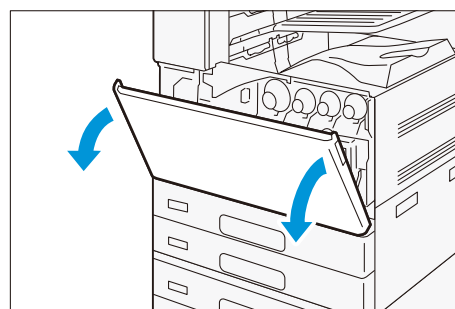


補足

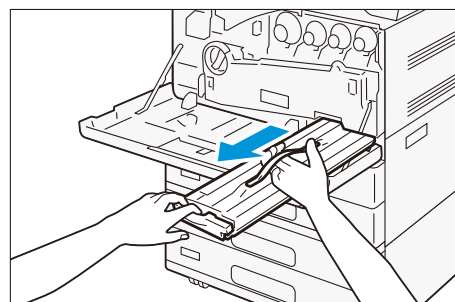
- トナー回収ボトルがいっぱいになる前に、トナー回収ボトルを取り出したり、振ったりしないでください。正確な検知ができず、トナー回収ボトルからトナーがあふれるおそれがあります。
- トナー回収ボトルを交換するとき、トナーがこぼれて床面などを汚すことがあります。あらかじめ、床に紙などを敷いて作業することをお勧めします。
- 65～70機のトナー回収ボトル先端部のフィルター面には触れないでください。トナーが指に付着するおそれがあります。



1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開きます。



2. トナー回収ボトルの取っ手をつかみ、回収ボトルを取り出します。



3. 新しいトナー回収ボトルの取っ手を持ちながら、ゆっくりと奥まで押し込みます。

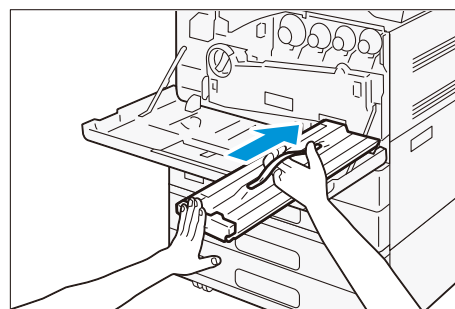
4. LED プリントヘッド部を清掃します。



参照

清掃方法については、「LEDプリントヘッド部」(P.24)を参照してください。

5. 正面カバーを閉じます。



ドラムカートリッジ

トータルサービス契約のお客様

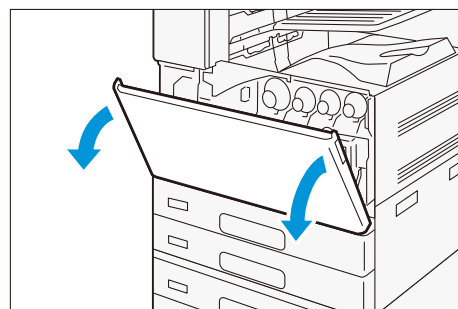
弊社の営業担当者、またはカスタマーコンタクトセンターにご連絡ください。

スポット保守契約のお客様

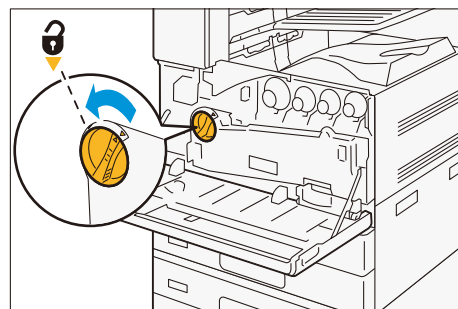
次の手順で、ドラムカートリッジを交換してください。

 **補足** ドラムカートリッジに直射日光や室内の蛍光灯の強い光を当てたり、ドラムの表面に触れるなどして、表面に傷を付けたりすると、画質不良が発生します。

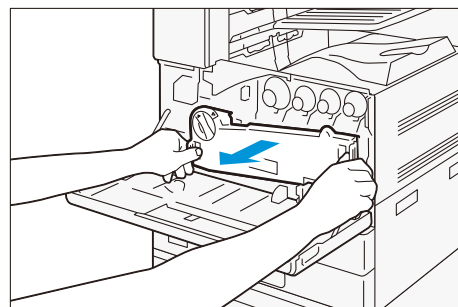
1. 本機が停止していることを確認し、正面カバーを開きます。



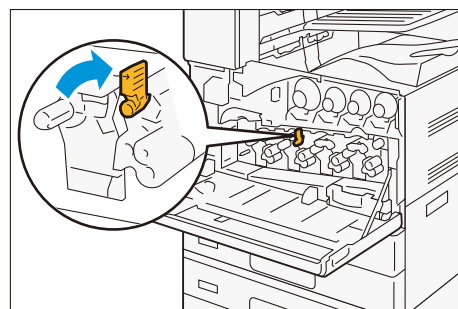
2. ハンドルを左側に回します。



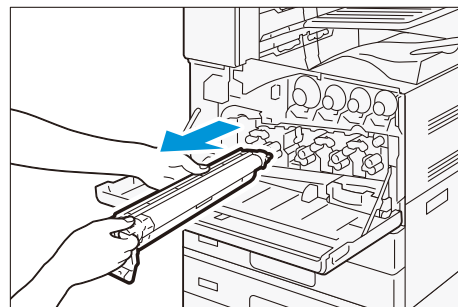
3. 搬送ボックスの両端のつまみを持ち、ボックスを外します。
外したボックスは立てた状態で平らな場所に置いてください。



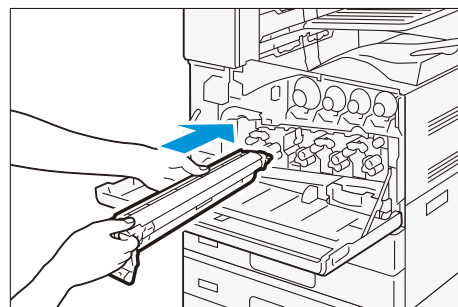
4. 交換するドラムカートリッジのストッパーを右側に回します。



5. ドラムカートリッジの下側を支えて、ゆっくり引き出します。
6. 新しいドラムカートリッジを箱から取り出し、同梱されているポリ袋に使用済みドラムカートリッジを入れて、箱にしまします。



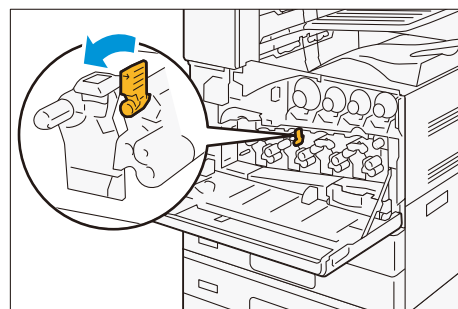
7. 保護カバーを付けたまま、新しいドラムカートリッジを「カチッ」と音がするまで、ゆっくりと奥まで押し込みます。
8. ドラムカートリッジの上部のつまみを持って、保護カバーをゆっくりと引き抜きます。



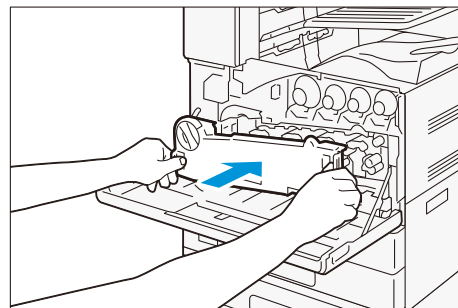
9. ストッパーを左側に回して、ロックします。

10. LED プリントヘッド部を清掃します。

 **参照** 清掃方法については、「LED プリントヘッド部」(P.24)を参照してください。

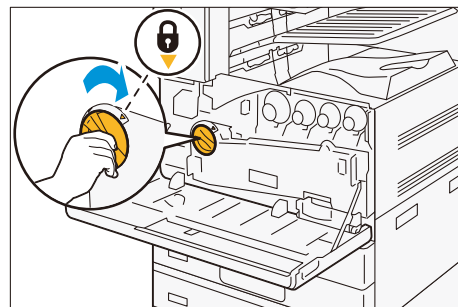


11. 搬送ボックスを元に戻します。



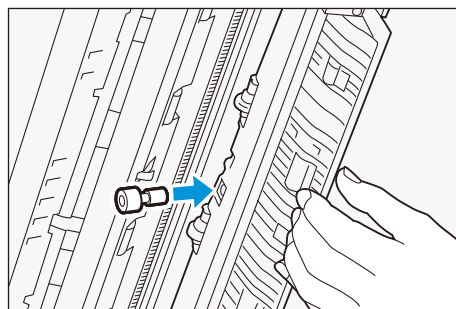
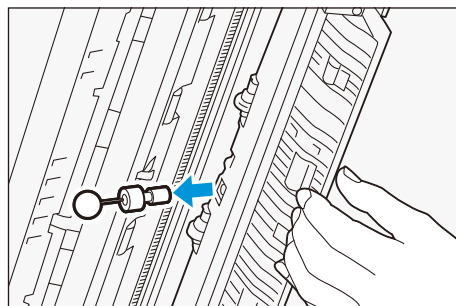
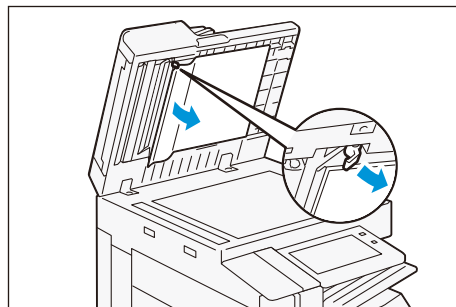
12. ハンドルを右側に回して、ロックします。

13. 正面カバーを閉じます。



スタンプ交換キット

1. 原稿カバーを開き、レバーをつまんで、裏面読み取り部を開きます。
2. スタンプキットに同梱のピンを突き刺して、スタンプインクを抜き取ります。
3. 新しいスタンプインクを差し込みます。
4. 裏面読み取り部を閉じてから、原稿カバーを閉じます。



本体の清掃

- 湿拭きをする場合は、水でぬらして固く絞った柔らかい布を使用してください。水気が残っていると、本体が故障するおそれがあります。
- ベンジンやシンナーなどの薬品類は使用しないでください。プラスチック部品の塗装、コーティングなどを傷めることがあります。

本体外部

外装部

1. 水でぬらして固く絞った柔らかい布で拭きます。

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

2. 柔らかい布で、水分を拭き取ります。

タッチパネルディスプレイ

中性洗剤、またはアルコールを染み込ませた柔らかい布で、軽く拭きます。

-  **補足**
- 中性洗剤、またはアルコールを布に染み込ませる量は、液垂れしない程度にしてください。染み込ませる量が多すぎた場合は、軽く絞ってから拭いてください。
 - 強い力で拭くと損傷のおそれがあります。軽く拭いてください。

LEDプリントヘッド部

トナー回収ボトル、ドラムカートリッジを交換したときは、濃度ムラ、色ムラが発生するのを防ぐため、LEDプリントヘッドの清掃をします。

1. 搬送ボックスを外します。

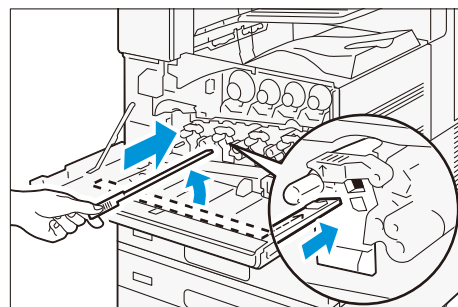
 **参照** 搬送ボックスを外す方法については、「ドラムカートリッジ」(P.21) を参照してください。

2. 正面カバーの裏側に付属している清掃棒を取り出し、LEDプリントヘッドをそれぞれ清掃します。

清掃棒の矢印(↑)部を上に向けて、奥に突き当たるまで差し込み、ゆっくりと引き抜きます。往復2～3回ずつ清掃します。

3. 清掃棒を元の場所に戻します。

4. 搬送ボックスを元に戻します。



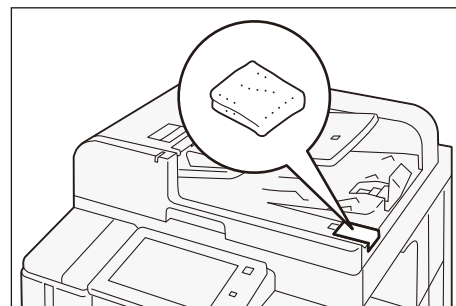
原稿読み取り部

原稿カバー、原稿ガラス、フィルム、原稿読み取りガラス

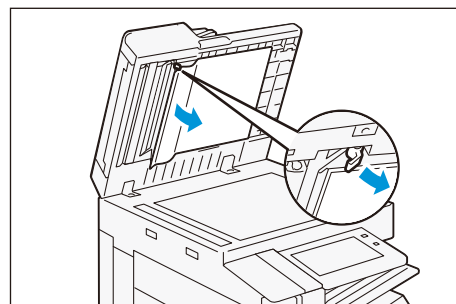
1か月に1回をめぐに、付属の布を使用して、汚れをふき取ってください。

汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めの中性洗剤を少量含ませ、軽く拭いてください。

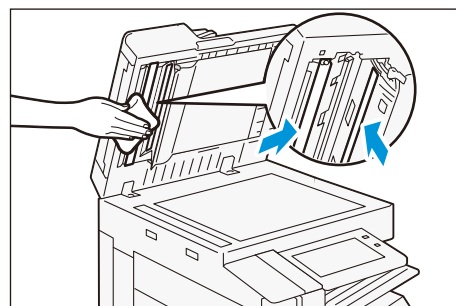
1. 原稿カバーを開き、レバーをつまんで、裏面読み取り部を開きます。



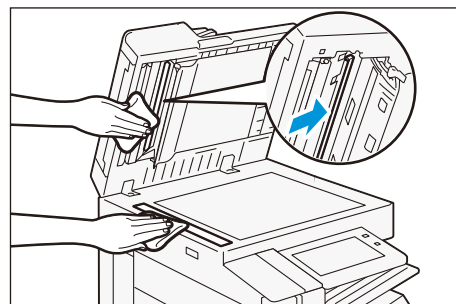
2. フィルムの汚れをふき取ります。



3. ガラスの汚れをふき取ります。



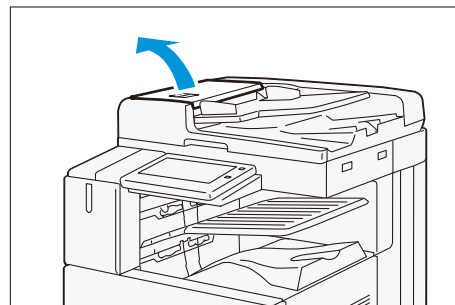
4. 裏面読み取り部を閉じてから、原稿カバーを閉じます。



原稿送り装置のローラー部

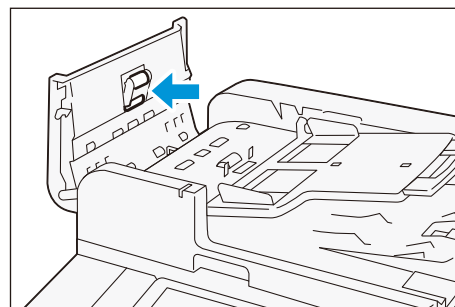
1 か月に 1 回をめどに清掃してください。

1. 原稿送り装置の左側カバー手前の取っ手を引き上げて、左側カバーを止まる場所まで開きます。



2. ローラーを回しながら、少し水で湿らせた柔らかい布で清掃します。

3. 原稿送り装置の左側カバーを閉じ、カバーの手前や奥に浮きがないことを確認します。



iv 故障かなと思ったら

P.27 トラブル対処

P.38 用紙が詰まった場合

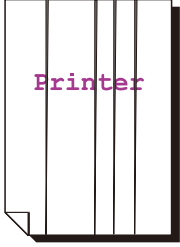
トラブル対処

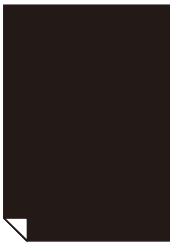
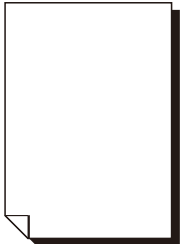
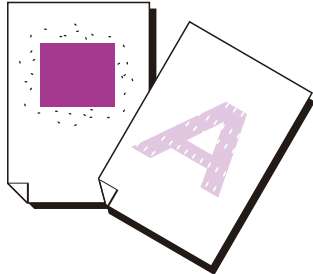
EP-BB 複合機管理サービスの契約をしている場合、本機の点検や修理が必要になったときは、自動で弊社のカスタマーコンタクトセンターに通知されます。連絡を受けると、必要に応じて、カスタマーエンジニアが訪問します。

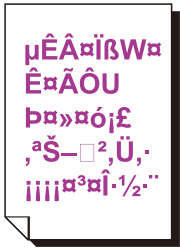
本体のトラブル

症状	原因 / 処置
電源が入らない	電源コードが抜けていたり、ゆるんでいたりすることがあります。 本機の電源を切り、電源コードを電源コンセントと本機に差し込み直してください。そのあとに、本機の電源を入れてください。 本機を、適切な定格電圧および定格電流のコンセントに接続してください。
パネルに何も表示されない	節電状態になっていることがあります。操作パネルの電源ボタンを押して、節電状態を解除してください。それでも改善されない場合は、機械の故障が考えられます。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
異常な音がする	本機を安定した平面の上に移動してください。 トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。 本機内部に異物が入っていることがあります。 電源を切り、本機内部の異物を取り除いてください。本機を分解しないと取り除けない場合は、弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
本機内部に結露が発生する	スリープモードに移行する時間を60分以上に設定し、電源を入れたまま約60分間放置してください。機械内部（ローラー、金属部分など）に水滴がないことを十分確認したうえでお使いください。また、頻繁に結露が発生する場合は、操作パネルで[設定] > [システム設定] > [システム時計 / タイマー設定] > [暖機モード動作] を[する]に設定して電源を入れたままにしてください。結露が改善する場合があります。
節電状態に移行しない	次のようなときは、本機に発生している現象をお客様にお知らせするため、また、本機の性能を発揮するために低電力モードやスリープモードに移行しません。 • 操作パネルで何らかの操作をしているとき • 消耗品の交換メッセージが表示されているとき • 紙詰まり、カバーオープンなどお客様の操作を必要としているとき • 故障などによりエラーが発生しているとき • [暖機モード動作] が[する]に設定されていて、本機が結露防止処理中のとき

画質のトラブル

症状	原因 / 処置
プリントがうすい (かすれる、不鮮明) 	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。新しいトナーカートリッジと交換してください。
	正しい用紙がセットされていることを確認してください。
	ホーム画面の「総合画質調整」で画質を調整してください。
黒点や黒線、または色線がプリントされる 等間隔に汚れが発生する   	用紙搬送路に汚れが付着している場合があります。数枚プリントしてください。
	ドラムカートリッジまたは定着ユニットが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
	たて方向の短い色筋の場合は、電源投入時の画質調整時間を延長するように設定すると、改善されることがあります。操作パネルで設定を変更してください。この設定をすると、ウォームアップ時間が通常よりも長くなり、ドラムカートリッジの寿命が若干短くなります。
指でこするとかすれる トナーが定着しない 用紙がトナーで汚れる 	選択されているトレイの用紙種類が適切ではありません。別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。
	定着ユニットが劣化、または損傷しています。定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。

症状	原因 / 処置
用紙全体が黒くプリントされる 	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 高圧電源の故障が考えられます。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
何もプリントされない 	一度に複数枚の用紙が搬送されています。用紙をよくさばいてからセットし直してください。 ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。ドラムカートリッジの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 高圧電源の故障が考えられます。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
白抜けや白筋、または色筋が出る 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 トナーカートリッジ内にトナーが残っていません。 新しいトナーカートリッジと交換してください。 ドラムカートリッジが正しくセットされていません。 正しくセットし直してください。 本機内部のLEDプリントヘッド部が汚れていることがあります。 LEDプリントヘッド部を清掃してください。 ドラムカートリッジまたは定着ユニットが劣化、または損傷しています。 ドラムカートリッジおよび定着ユニットの状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。 現像器が劣化、または損傷しています。現像器の状態によっては、交換が必要な場合があります。弊社カスタマーコンタクトセンター、または販売店にご連絡ください。
画像の一部が抜けて白点になる 画像の一部が白く抜ける 画像周辺にトナーが飛び散る 画像全体に青みがかったり 	別の用紙種類の設定に変更して、プリントしてください。 ホーム画面の [設定] > [保守] > [画質調整] > [転写出力調整] > [サンプルプリント番号指定調整] で転写出力を調整してください。白点になる／白く抜ける場合は、転写電圧の値を下げます。 トナーが飛び散る場合は、転写電圧の値を上げます。
文字がにじむ 	使用している用紙が適切ではありません。適切な用紙をセットしてください。 用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。

症状	原因 / 処置
文字化けする 画面表示とプリント結果が一致しない 	TrueType フォントをプリンターフォントに置き換える設定になっています。プリンタードライバの、[詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を [常にTrueType フォントを使う] に設定してください。
斜めにプリントされる 	用紙ガイドが正しい位置にセットされていません。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
はがきや封筒にきれいにプリントされない	本機で使用できない種類のはがきや封筒がセットされています。適切な用紙をセットしてください。
	プリンタードライバのプロパティや操作パネルで、用紙の種類が適切に設定されていることを確認してください。

トレイや用紙送りのトラブル

症状	原因 / 処置
用紙が送られない 紙詰まりが起こる 用紙が重送される 用紙が斜めに送られる 用紙にしわが付く	用紙を正しくセットしてください。また、ラベル紙、はがきなどの厚い紙、封筒などをセットする場合は、用紙の間に空気が入るように、紙をよくさばいてください。
	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。
	使用できる用紙をセットしてください。 用紙の種類や用紙の状態によっては、用紙にしわが付くことがあります。
	トレイを本機の奥までしっかり押し込んでください。
	本機を安定した平面の上に移動してください。
	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	トレイにセットしてある用紙を使い切る前に、用紙を継ぎ足さないで、セットしている用紙をよくさばいてから、もう一度セットしてください。用紙を補給するときは、セットしている用紙を使い切ってから補給してください。
トレイが正しく選択されない	用紙ガイドの位置がずれていると、本機はセットされている用紙のサイズを正しく検知できないことがあります。用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーのプロパティや操作パネルで、トレイの設定、用紙サイズ、および用紙種類が適切に設定されていることを確認してください。
用紙の角が折れる	用紙が反って（カールして）いると、角が折れることがあります。次の対処をしても改善しない場合は、新しい用紙と交換してください。 • 反りが直るように、用紙を平らにならしてください。 • 用紙を裏返してください。 • トレイ1～4を使用している場合は、手差しトレイを使用してください。
手差しトレイから用紙が送られない	プリンタードライバーの [トレイ / 排出] タブで [用紙トレイ選択] を [自動] に設定しています。[トレイ5 (手差し)] を選択するか、[自動] の場合は手差しトレイを自動選択トレイの対象に設定してください。
手差しトレイから用紙を送った際、用紙の先端が折れる	用紙が湿気を含んでいます。新しい用紙と交換してください。 手差しトレイの用紙セット枚数を30枚以下に減らしてください。 用紙のセット方向を変更してください。用紙トレイ1～4から用紙を送ってください。

コピーのトラブル

症状	原因 / 処置
原稿送り装置から原稿がうまく送り込まれない	原稿送り装置にセットできる原稿の最小サイズを確認して、適切なサイズの原稿をセットしてください。
	変形原稿、名刺、OHPフィルム、薄い原稿は、原稿送り装置では使用しないでください。また、付せん、クリップ、セロハンテープ、ホチキスを付けた原稿も使用しないでください。
	原稿サイズに合わせて、原稿ガイドを正しくセットしてください。
	サイズが異なる原稿をセットしている場合、[ミックスサイズ原稿送り]を設定しないと、原稿詰まりが発生します。[ミックスサイズ原稿送り]の設定を[する]にしてください。
コピーが汚れている	原稿カバー、原稿ガラス、フィルム、原稿読み取りガラスを清掃してください。
	OHPフィルムなどの透過度の高い原稿を使用している場合は、原稿の上に白紙を載せてスキャンしてください。
	カラーペーパー、ざら紙、青焼きなどの原稿を使用している場合、紙の地色がコピーに写ります。コピー濃度を調整するか、画質を調整するか、地色除去を指定してコピーしてください。
	光沢のある印画紙は、原稿ガラスに張り付きやすく、影が汚れのようにコピーされることがあります。OHPフィルムなどの透明フィルムを原稿の下に敷いてコピーしてください。
コピーが濃すぎる、または薄すぎる	黒い文字をコピーして、薄いと感じた場合は、[原稿の画質]で[文字]を選択してください。
原稿の色と、コピーの色が異なる	ホーム画面の[総合画質調整]で画質を調整してください。
	[原稿の画質]で、原稿に合わせた画質タイプを選択してください。
	黒い文字をコピーして、薄いと感じた場合は、[原稿の画質]で[文字]を選択してください。
コピーが部分的に写らない	用紙が湿気を含んでいる場合は、新しい用紙と交換してください。
	トレイからしわや折りが付いている用紙を取り除くか、新しい用紙と交換してください。
	貼り合わせた原稿や、折り込んだ原稿の場合、貼り合わせた部分や折り込んだ部分が、原稿ガラスに密着していないことがあります。原稿の上に白紙の束などを重ねて、原稿ガラスに密着するようにしてください。
コピーに縞模様が写る	拡大コピーをすると、倍率によって縞模様が発生します。コピーの倍率を調整してください。
希望のサイズにコピーされない	原稿カバー、または原稿ガラスを清掃してください。
	OHPフィルムなどの透過度の高い原稿を使用している場合は、原稿の上に白紙を載せてスキャンしてください。
	原稿を正しくセットしてください。
	定形外サイズの原稿を使用しています。原稿のサイズを入力してコピーしてください。

プリンターのトラブル

症状	原因 / 処置
状態表示ランプが点滅している	操作パネルに表示されているエラーメッセージを確認して、エラーの対処をしてください。
プリントできない	本機の IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。
	受信制限の設定を確認してください。
	1 度に送信されるプリントデータの容量が、本機の受信容量の上限を超えていることがあります。受信バッファ容量の設定をメモリースプールにしている場合に、この現象が発生することがあります。プリントデータを本機の受信容量上限より小さいサイズに分割してください。プリントデータが複数ある場合は、1 度にプリントするファイルの量を減らしてプリントしてください。
プリントに時間がかかる	受信バッファ容量の不足が考えられます。解像度の高い文書をプリントするときは、操作パネルの [メモリー設定] で使用しない項目のメモリー容量を減らし、受信バッファ容量が大きくなるようにしてください。 受信バッファ容量を増やすと、プリント処理が速くなることがあります。プリントデータの容量に応じて、受信バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートを停止して、ほかの用途向けにメモリーを割り当ててをおすすめします。
	プリンタードライバーの [印刷モード] の設定で、[グラフィックス] タブの [印刷モード] の設定を [標準] に変更すると、プリントにかかる時間を短縮できることがあります。
	TrueType フォントのプリント方法によっては、プリントに時間がかかることがあります。プリンタードライバーの [詳細設定] タブにある [フォントの設定] で、TrueType フォントのプリント方法を変更してください。
	用紙種類の設定で、厚紙 1、厚紙 2、ラベル紙、コート紙 2、コート紙 3、はがき、封筒を選択した場合や、プリンタードライバーの [印刷モード] で [高精細 (文字 / 線)] を選択した場合は、プリント速度が通常の約半分になります。 また、連続運転をしていて、機械内部の温度が一定以上になった場合は、プリント速度を落としてプリントします。そのまま、連続運転したり、さらに温度が上がったりした場合は、エラーで停止します。そのときは、電源を切って、しばらく待ってプリンター内部の温度を下げた後、電源を入れ直してください。
プリントを指示していないのに、[プリントしています] が表示される (USB インターフェイス 使用時)	本機の電源を入れたあとに、コンピューターの電源を入れた場合は、プリントを中止してください。
印字された文書の上部が欠ける 思った位置にプリントされない	用紙ガイドを正しい位置にセットしてください。
	プリンタードライバーで余白の設定が正しいかどうかを確認してください。
	ホーム画面の [設定] > [保守] > [画質調整] > [アライメント調整] でプリントする位置を調整してください。

ファクスのトラブル

症状	原因 / 処置
未送信レポートが出力された	未送信レポートの「通信結果」欄を確認して対処してください。エラーコードが表示されている場合は、弊社公式サイトのサポートページから『エラーコード検索』を参照して対処してください。
通信できない（一般のファクス）	本機には電話線を差し込む場所が複数あります。正しい場所に差し込まれていないと通信できません。正しい場所に差し込まれている場合、「オンフック」機能を使用して一般回線に通信できます。
	近くにある電話機で、電話ができるかどうか確認してください。電話ができない場合は、本機の異常ではなく、電話回線に問題があります。
	本機に設定されている回線の種別を、契約している回線の種別（PB／10 pps／20 pps）と合わせてください。
	送信先のファクスの電源が切れていたり、受信モードが手動受信であったり、G3 受信ができないファクスの場合、送信できません。また、送信先が用紙切れやメモリーオーバーのこともあります。送信先に電話をかけて確認してください。
	ファクス番号を確認して、再度送信してください。 G3でDP（ダイヤルパルス）を使用する場合は、ファクス番号に「*」や「#」を使用できません。短縮宛先番号で発信する場合は、宛先表に登録されているファクス番号も確認してください
	内線から発信している場合、外線発信番号が必要です。ダイヤル時に、外線発信番号「0」などをダイヤルしてから、ファクス番号をダイヤルしてください。交換機が変更になり、外線発信番号「0」をダイヤルしても通信できない場合は、「0*」で通信できることがあります。
	アドレス帳の宛先を指定して、発信時に外線発信番号を付与している場合、アドレス帳の宛先に外線発信番号の「0」が、すでに登録されていることがあります。未送信レポートで送信先の電話番号を確認してください。
	原稿のデータ量が多すぎます。 解像度を下げてデータ量を少なくするか、数回に分けて送信してください。
	原稿のサイズが大きすぎます。 読み取り可能なサイズに変更するか、原稿を分割して送信してください。
	ファクス網に問題があります。 「161」、または「162」のあとに、「-」（ポーズ）を2回入れてから電話番号を入力してください。また、ファクス網と契約しているかどうか確認してください。
	ポーリングなどの機能を使用するときは、送信先のファクスが対応しているかどうか確認してください。
	認証、集計管理機能を使用している場合に、コンピューターから直接ファクスを送信するときは、ファクスドライバーで、本機に登録されている正しいユーザー名と暗証番号を設定してください。
	回線1～3付加サービスが正しく設定されていません。電話会社との回線契約（ナンバー・ディスプレイ/発信者番号表示、およびダイヤルイン）を確認して、設定してください。
	発信番号通知の振り分け機能を利用するには、NTT とのナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
	モデムダイヤルインの振り分け機能を使用するには、NTT とのモデムダイヤルインの契約が必要です。
	本機の電源が入っていないと受信できません。本機の電源を入れてください。
	本機に用紙がセットされていない場合、受信した文書をプリントできません。
	用紙が詰まっています。本機の操作パネルを見て、詰まっている用紙を取り除いてください。
	本機が機械管理者モードになっている場合は、受信できません。機械管理者モードを終了してください。

症状	原因 / 処置
通信できない（一般のファクス）	受信パスワードを設定している場合、F コードで正しい受信パスワードを送信してくる相手だけ、受信やポーリングを受け付けることができます。
	手動受信に設定されています。手動受信を解除するか、自動受信に設定してください。
	FAX 情報サービスを利用するには、オンフック、またはオフフック画面で手動受信モードに設定して、情報コードなどを入力したあと、最後に [スタート] をタップしてください。
	送信元で原稿を正しくセットしていません。送信元に確認してください。
	 補足 通信時は、本機側だけの問題ではなく、相手機側のトラブルによって異常が発生する場合があります。
通信できない（IP ファクス（SIP））	本機に正しいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定してください。
	本機に正しいSIPアドレスを設定してください。
	本機に正しいSIPサーバーのIPアドレスを設定してください。
	SIPサーバーが正常に動作していることを、ネットワーク管理者に確認してください。
	SIPサーバーへの本機の情報の登録が失敗しています。 本機の電源を切って、入れ直してください。
	送信先のIPファクス（SIP）機の電源が切れている場合は送信できません。送信先に確認してください。
	宛先の指定方法が正しくありません。次の宛先を指定してください。 • SIPサーバー、VoIPゲートウェイともに使用していない場合：宛先に「SIPユーザー名@IPアドレス」を指定してください。 • SIPサーバーだけを使用している場合：宛先に「SIPユーザー名」、または「電話番号」を指定してください。 • VoIPゲートウェイを使用している場合：宛先に「電話番号」を指定してください。 • SIPサーバー、VoIPゲートウェイともに使用している場合：宛先に「SIPユーザー名」、または「電話番号」を指定してください。
	ポーリングなどの機能を使用するときは、送信先のファクスが対応しているかどうか確認してください。
	認証、集計管理機能を使用している場合に、コンピューターから直接ファクスを送信するときは、ファクスドライバーで、本機に登録されている正しいユーザー名と暗証番号を設定してください。
	IP ファクス（SIP）の同時接続数は1つです。同時にIPファクス（SIP）の送受信はできません。IPファクス（SIP）の受信が終わった後に、もう一度、送信してください。IPファクス（SIP）の送信が終わった後に、送信元に再送を依頼してください。
	ネットワーク中継機器（スイッチ/ルーター/ファイヤーウォールなど）で、IPファクス（SIP）用ポートを利用可能に設定してください。
	SIPサーバーを使用する環境で、本機で受付IPアドレスを制限している場合は、受付IPアドレスにSIPサーバーのIPアドレスを追加してください。
	Ethernet ケーブルが1分以上抜けていた場合、SIPサーバー上のRegisterリカバリが終了すると登録に成功します。処置は必要ありません。
	本機の電源が入っていないと受信できません。本機の電源を入れてください。
	本機が機械管理者モードになっている場合は、受信できません。機械管理者モードを終了してください。
	受信パスワードを設定している場合、F コードで正しい受信パスワードを送信してくる相手だけ、受信やポーリングを受け付けることができます。

症状	原因 / 処置									
通信できない (IP ファクス (SIP) でVoIPゲートウェイを使用している場合)	本機に正しいVoIPゲートウェイを登録してください。									
	VoIPゲートウェイが正常に動作していることを、ネットワーク管理者に確認してください。									
	VoIPゲートウェイ上の設定が正しいことを、ネットワーク管理者に確認してください。									
	送信先の G3 ファクス機が正常に動作していません。送信先の G3 ファクス機の電源が切れている場合は送信できません。送信先に電話をかけて確認してください。									
IP ファクス (SIP) 通信に時間がかかる	使用しているネットワーク環境に合わせ、本機の [IP パケット送信優先度] の設定値を大きくしてください。									
	ネットワーク中継機器 (スイッチ / ルーターなど) の QoS 値毎に割り当てられているキュー (バッファ) が小さいため、通信データの損失が大量に発生しています。 ネットワーク中継機器で、ネットワーク環境に適したパラメーターを設定してください。									
	ネットワーク内で通信速度が異なっているため、通信データの損失が大量に発生しています。 ネットワーク内で通信速度を統一してください。									
	VoIPゲートウェイの通信パラメーター (input gain/output attenuation、echo 設定など) がネットワーク環境に合っていないため、通信データの損失が大量に発生しています。 VoIPゲートウェイで、ネットワーク環境に適したパラメーターを設定してください。									
	電話用ネットワークとデータ用ネットワークを分けて運用している場合、IPファクス (SIP) 機をデータ用ネットワークに接続しています。ネットワーク環境全体で QoS 設定をして、トラフィック管理をしてください。本機の QoS は [IP パケット送信優先度] を設定してください。									
IP ファクス (SIP) 通信時にネットワークのほかの通信 / 通話が遅くなる	使用しているネットワーク環境に合わせ、本機の [IP パケット送信優先度] の設定値を小さくしてください。									
	電話用ネットワークとデータ用ネットワークを分けて運用している場合、IPファクス (SIP) 機を音声用ネットワークに接続しています。ネットワーク環境全体で QoS 設定をして、トラフィック管理をしてください。本機の QoS は [IP パケット送信優先度] を設定してください。									
画質が悪い	ドラムカートリッジに傷があります。 コピーして画質が悪い場合は、ドラムカートリッジを交換してください。									
	送信元 の原稿読み取り部が汚れているか、送信元 の解像度 の設定が低い です。 送信元 に確認してください。									
	 補足 通信時は、本機側だけの問題ではなく、相手機側のトラブルによって画質に異常が発生する場合があります。									
1 ページの受信文書が複数に分割される	本機は、原稿を受信した場合の処理方法を、自動縮小受信との組み合わせで設定できます。 組み合わせによって、受信文書は次のようにプリントされます。									
	<table><tr><td></td><td>自動縮小受信あり</td><td>自動縮小受信なし</td></tr><tr><td>しきい値以内の場合</td><td>自動的に縮小されて、1 枚にプリント</td><td>定形サイズを超える部分をカットしてプリント</td></tr><tr><td>しきい値を超える場合</td><td>等倍で分割されてプリント</td><td>—</td></tr></table>		自動縮小受信あり	自動縮小受信なし	しきい値以内の場合	自動的に縮小されて、1 枚にプリント	定形サイズを超える部分をカットしてプリント	しきい値を超える場合	等倍で分割されてプリント	—
		自動縮小受信あり	自動縮小受信なし							
しきい値以内の場合	自動的に縮小されて、1 枚にプリント	定形サイズを超える部分をカットしてプリント								
しきい値を超える場合	等倍で分割されてプリント	—								
ボックスセクター機能を設定しているのに、受信文書が選択した親展ボックスに蓄積されず、プリントされてしまう	ボックスセクター機能の設定で、未登録の親展ボックスが選択されています。登録済みの親展ボックスを選択してください。									

スキャナーのトラブル

症状	原因 / 処置
取り込み中に動作が止まる	ファイルサイズが大きいです。解像度を低く設定して、再度読み込んでください。
未送信レポートが出力された	未送信レポートの「通信結果」欄を確認して対処してください。エラーコードが表示されている場合は、弊社公式サイトサポートページから『エラーコード検索』を参照して対処してください。
マルチページTIFF文書が開かない、または1ページ目しか表示されない	複数ページの原稿を読み取ると、マルチページTIFF文書になります。マルチページTIFFに対応しているTIFF Viewerをインストールしてください。
カラー原稿を読み取ったが、文書が開かない	文書がTIFF形式で保存されている場合は、TIFF Viewerを使用して文書を開くことができます。PDFを閲覧できる環境の場合は、文書をPDF形式で保存してください。 CentreWare Internet Servicesで取り出した文書はTIFF形式になるため、TIFF Viewerを使用すると文書を開くことができます。PDFを閲覧できる環境の場合は、文書をPDF形式で保存してください。
ネットワーク転送できない	サーバーを正しく入力してください。 保存場所を正しく入力してください。 SMBを選択した場合は、共有名を正しく入力してください。 SMB（UNC表記）を選択した場合は、保存先を正しく入力してください。 ログイン名が正しく入力されていません。ログイン名の入力を確認してください。 パスワードが正しく入力されていません。パスワードの入力を確認してください。 Windows OSへの転送の場合、本機とWindowsの時刻設定が一致していません。本機とWindowsの時刻設定を一致させてください。 Windows OSを使用している場合に、パスワードを設定しないユーザーでSMB転送しようとしています。次の方法でネットワークへのアクセス設定を変更してください。 (1) Windowsを起動して、[コントロールパネル] > [管理ツール]を選択し、[ローカルセキュリティポリシー]を選択する。 (2) [セキュリティの設定] > [ローカルポリシー] から [セキュリティオプション] を選択する。 (3) [アカウント：ローカルアカウントの空のパスワードの使用をコンソールログオンだけに制限する] を [無効] に設定する。 SMB転送に指定したDFSの名前空間が4つ以上のルートで構成されています。3つ以下のルートで構成されたDFS名前空間を指定してください。 指定した保存場所のアクセス権が正しくありません。指定した保存場所で、ファイルやフォルダーの読み取り、および書き込みができるようにアクセス権を設定してください。 SMBのポート番号がブロックされています。転送先のサーバー、および複合機とサーバーの間に存在するルータや転送先のサーバー上のウィルススキャンソフト、ファイアウォールソフトなどでSMBポートがブロックされていないことを確認してください。
白黒のグラデーションが希望どおり再現されない	[カラーモード] の [白黒 (2階調)] を選択しています。 [カラーモード] の [グレースケール (256階調)] を選択してください。

用紙が詰まった場合

用紙が詰まると、機械が停止してアラームが鳴ります。また、ディスプレイには、メッセージが表示されます。表示されているメッセージに従って、詰まっている用紙を取り除いてください。

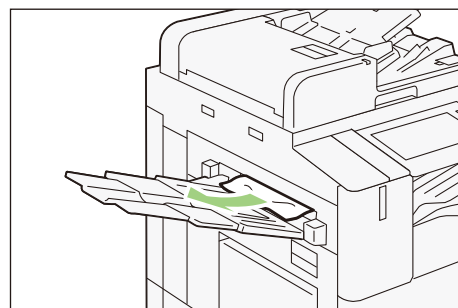
用紙は破れないように、ゆっくりと取り除いてください。取り出す途中で紙が破れたときも紙片を機械の中に残さないで、すべて取り除いてください。

紙詰まりの処置が終了すると、用紙が詰まる前の状態から自動的にプリントが再開されます。コピーの途中の場合は「スタート」をタップすると、用紙が詰まる前の状態からコピーが再開されます。

-  **補足**
- 紙詰まりが発生したときは、紙詰まりの位置を確認してから用紙トレイを引き出してください。
 - 紙詰まりの処置は、電源が入った状態で行ってください。
 - 本機内部の部品には触れないでください。印字不良の原因になります。

サイドトレイ

1. 詰まっている用紙を取り除きます。



左側面上部カバー内

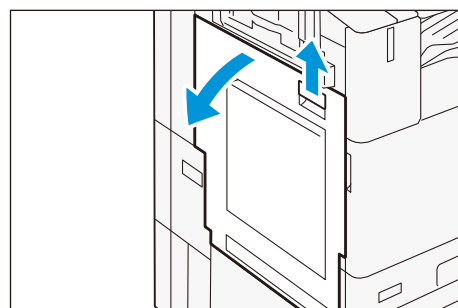
警告

定着部は高温になっています。やけどの原因となるおそれがあります。触れないように注意してください。

-  **注記** 用紙を取り除くとき、左側面上部のカバーの内部にある本体側の転写ベルト（黒いフィルム状のベルト）に触れないでください。画質に影響をおよぼしたり、転写ベルトが損傷して交換が必要になることがあります。

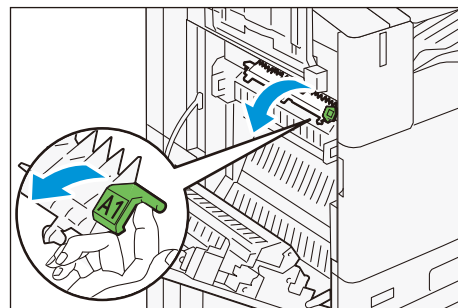
1. リリースレバーを上げ、左側面上部のカバーを開きます。

-  **補足**
- サイドトレイが装着されている場合は、サイドトレイの用紙を取り除いてサイドトレイを閉じてから、左側面上部のカバーを開いてください。
 - 大容量給紙トレイ（1段）が装着されている場合は、取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動してください。



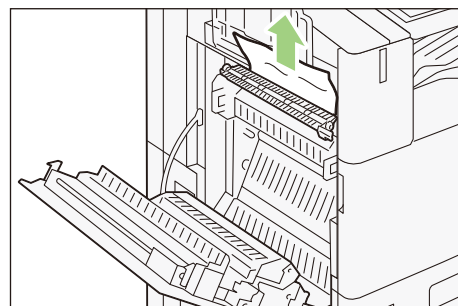
定着部

- (1) レバー [A1] を引きます。



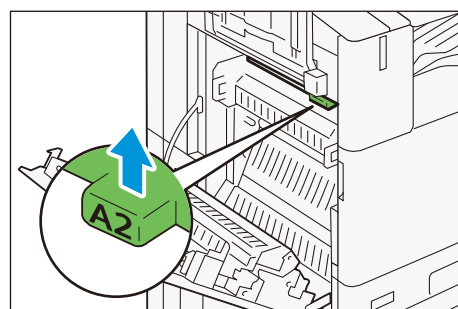
- (2) 詰まっている用紙を取り除きます。

- (3) レバー [A1] を元に戻します。



センタートレイ排出口

- (1) レバー [A2] を引きます。



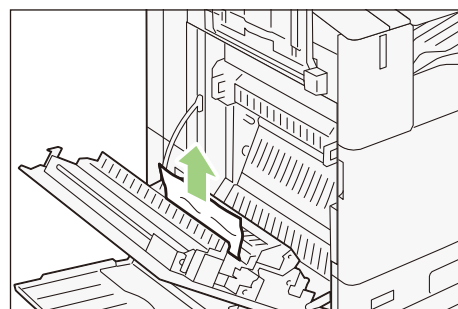
- (2) レバー [A2] を持ちながら、詰まっている用紙を取り除きます。

- (3) レバー [A2] を元に戻します。

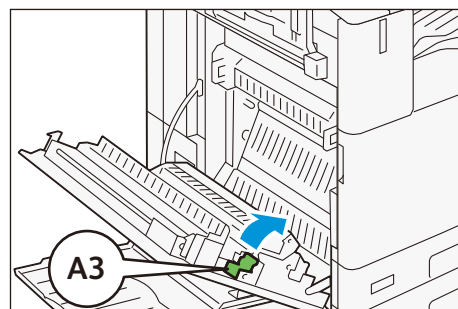


両面ユニット

- (1) 詰まっている用紙を取り除きます。

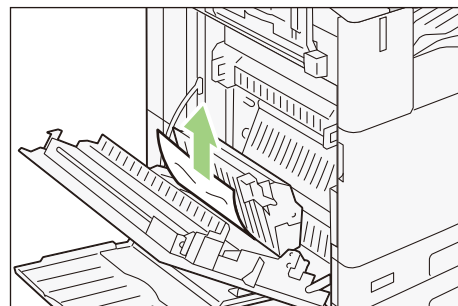


(2) レバー [A3] を引きます。



(3) レバー [A3] を持ちながら、詰まっている用紙を取り除きます。

(4) レバー [A3] を元に戻します。

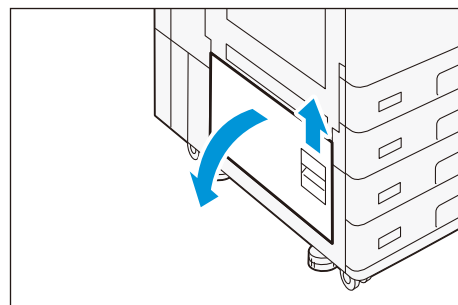


2. 左側面上部のカバーを閉じます。

左側面下部カバー内

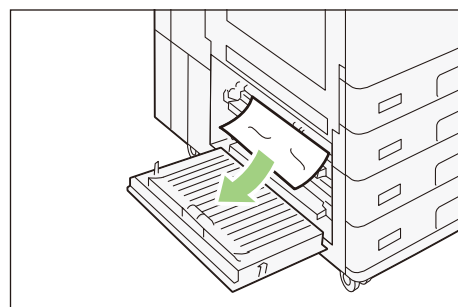
1. リリースレバーを上げ、左側面下部のカバーを開きます。

 **補足** 大容量給紙トレイ（1 段）が装着されている場合は、取っ手を持って、ユニットをいっぱいまで左に移動してください。



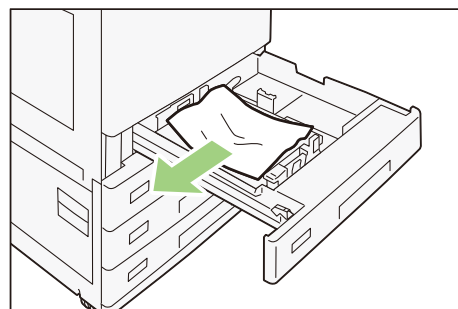
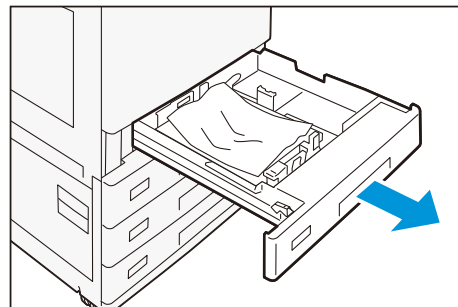
2. 詰まっている用紙を取り除きます。

3. 左側面下部のカバーを閉じます。



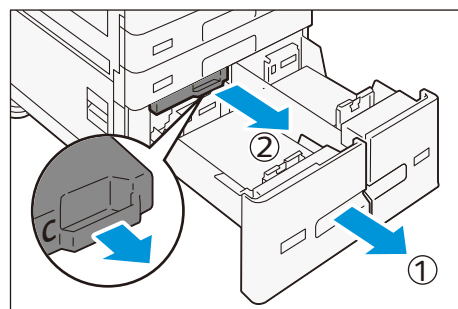
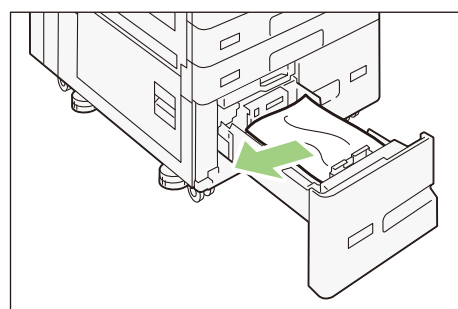
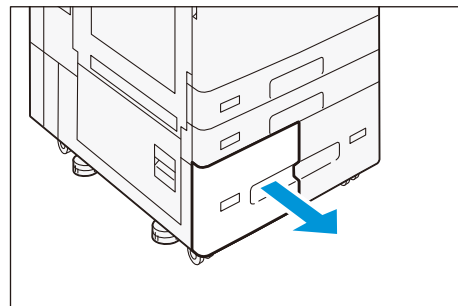
標準トレイ

1. 紙詰まりが発生した用紙トレイを、いっぱいまで引き出します。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. 用紙トレイを押し込みます。

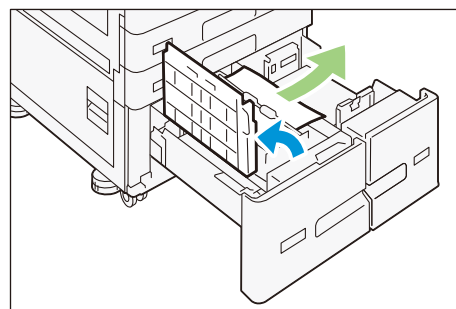


タンデムトレイ

1. 紙詰まりが発生した用紙トレイを、いっぱいまで引き出します。
2. 詰まっている用紙を取り除きます。
3. 用紙搬送部に用紙が詰まっている場合は、[C]を引き出します。

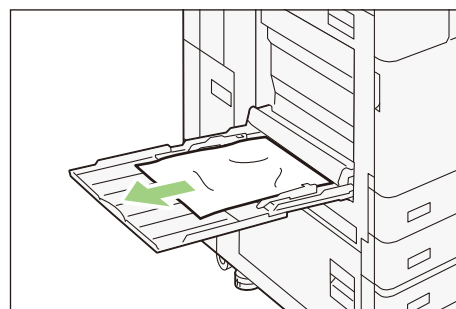


4. カバーを開いて、用紙を取り除きます。
5. カバーを閉じ、用紙トレイを押し込みます。



手差しトレイ

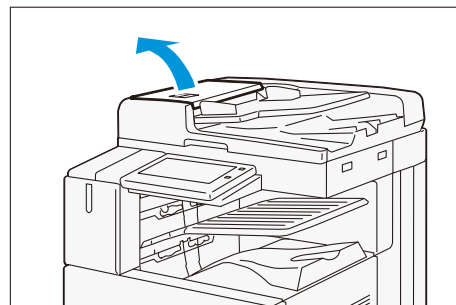
1. 詰まっている用紙を取り除きます。



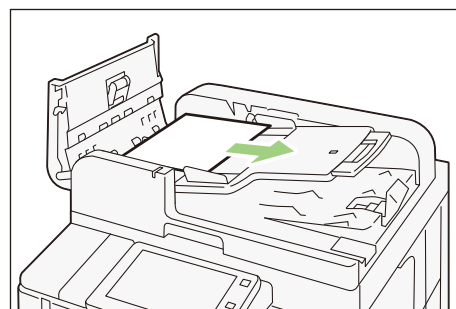
自動両面原稿送り装置

B1-PC

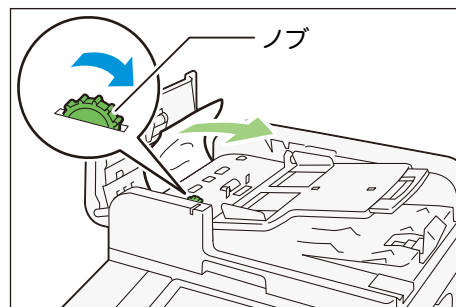
1. カバー手前の取っ手を引き上げて、カバーを止まる場所まで開きます。



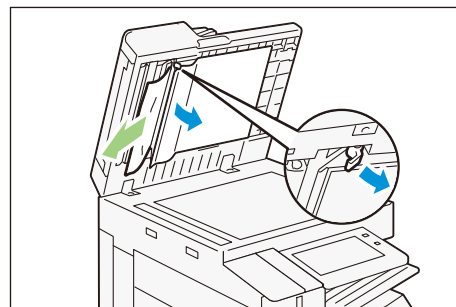
2. 原稿を取り除きます。



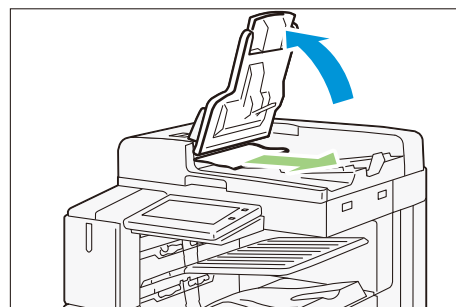
3. ノブを回して、原稿を取り出します。
4. カバーを閉じます。



5. 原稿が見つからないときは、原稿カバーを開き、レバーをつまんで、裏面読み取り部を開き、原稿を取り出します。
6. 裏面読み取り部を閉じてから、原稿カバーを閉じます。

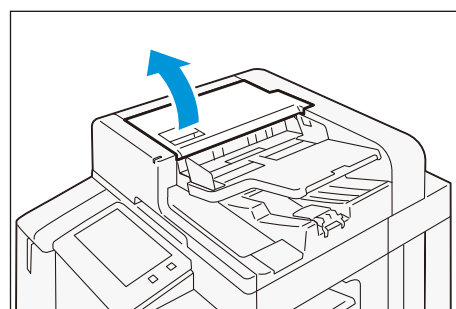


7. 原稿送りトレイを持ち上げて、原稿を取り除きます。
8. 原稿送りトレイを戻します。

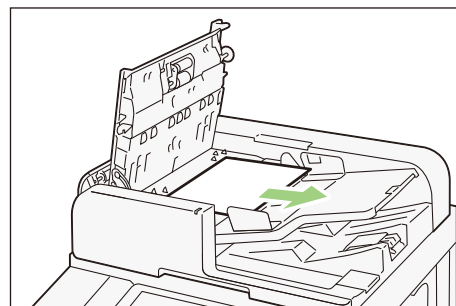


C2-PC

1. 上面カバー手前の取っ手を引き上げて、カバーを止まる場所まで開きます。

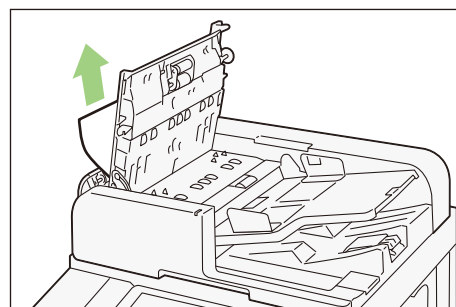


2. 左側カバーを止まる場所まで開きます。
3. 原稿を取り除きます。

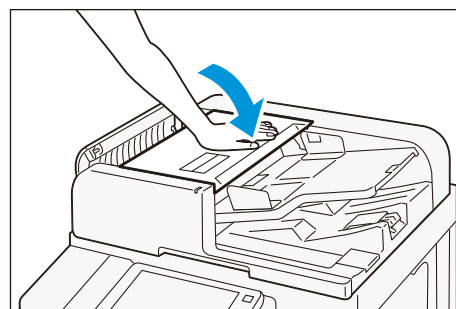


4. 原稿が引き込み部にはさまっている場合は、左側カバーから詰まっている原稿を取り除きます。

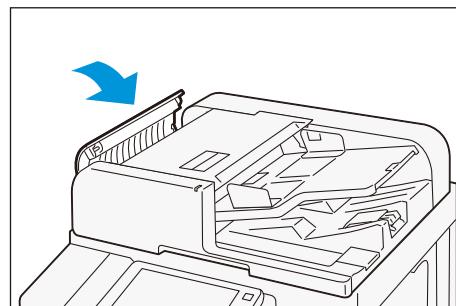
 **補足** 排出口に原稿があるときは、原稿送りトレイを持ち上げ、排出方向に引き抜いてください。



5. 上面カバーを閉じます。

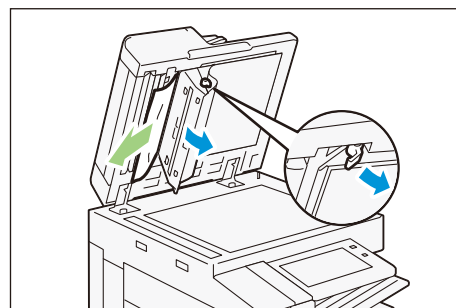


6. 左側カバーを閉じます。



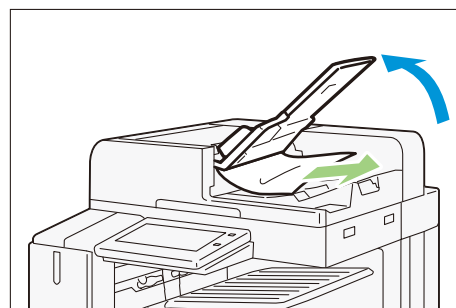
7. 原稿カバーを開き、レバーをつまんで、裏面読み取り部を開き、原稿を取り出します。

8. 裏面読み取り部を閉じてから、原稿カバーを閉じます。



9. 原稿送りトレイを持ち上げて、原稿を取り除きます。

10. 原稿送りトレイを戻します。



v 付録

P.45 主な仕様

P.51 安全にご利用いただくために

主な仕様

本機の主な仕様を記載しています。製品の仕様、および外観は、改良のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

 **補足** すべての用紙について、画質性能、走行性能を保証するものではありません。使用については、弊社の用紙の使用を推奨します。そのほかの用紙については、弊社営業担当者にお問い合わせください。

 **参照** ■ オプション装置の仕様については、『リファレンスガイド オプション装置編』の該当装置の章を参照してください。
■ Print Serverの仕様については、Print Serverに付属のマニュアルをご覧ください。

基本機能/コピー機能

項目	仕様				
形式	コンソールタイプ				
メモリー容量	4 GB（最大：4 GB）				
ストレージ容量	128 GB				
カラー対応	フルカラー				
読み取り解像度	600×600 dpi				
書き込み解像度	1,200×2,400 dpi（多値写真）、600×600 dpi（文字/文字写真/写真/地図）				
階調（表現色）	各色 256階調（1,670万色）				
ウォームアップ・タイム	組み込みプラグイン機能/カスタムサービス 有効時：30秒以下（室温23℃）、無効時：24秒以下（室温23℃）				
リカバリータイム （スリープ復帰時間）	C7070/C6570	C5570/C4570		C3570/C3070/C2570	
	13秒以下（室温23℃）	5秒以下（室温23℃）		4秒以下（室温23℃）	
ファーストコピー・タイム （A4□）	C7070/C6570	C5570	C4570	C3570/C3070	C2570
モノクロ （白黒優先モード時）	3.3秒以下	3.7秒以下	4.4秒以下	4.9秒以下	6.3秒以下
カラー （カラー優先モード時）	4.1秒以下	5.2秒以下	5.7秒以下	6.7秒以下	8.7秒以下
複写倍率	等倍：1：1 ± 0.7 % 固定倍率：50 %、70 %、81 %、86 %、115 %、122 %、141 %、200 % 任意倍率：25 ～ 400 %（1 % きざみ）				

項目	仕様				
連続複写速度 (連続片面コピー / 等倍時、 モノクロ / カラー)	用紙サイズ	B5□/A4□	A4/B5	B4	A3
	C7070	70枚/分	50枚/分	41枚/分	35枚/分
	C6570	65枚/分	47枚/分	38枚/分	32枚/分
	C5570	55枚/分	40枚/分	32枚/分	27枚/分
	C4570	45枚/分	32枚/分	26枚/分	22枚/分
	C3570	35枚/分	27枚/分	23枚/分	19枚/分
	C3070	30枚/分	23枚/分	20枚/分	17枚/分
	C2570	25枚/分	19枚/分	16枚/分	14枚/分
連続複写枚数	999 枚				
電源	C7070/C6570		C5570/C4570/C3570/C3070/C2570		
最大消費電力					
電源	AC 100 V±10 %、13 A + 7 A、50/60 Hz 共用 (2電源)		AC 100 V±10 %、15 A、50/60 Hz 共用		
最大消費電力	2 kW		1.5 kW		
待機時	113 W		70 W		
低電力モード	77 W		49 W		
スリープモード	0.5 W		0.5 W		
 補足 工場出荷時は、低電力モードには設定されていません。					
エネルギー消費効率	C5570	C4570	C3570	C3070	C2570
年間消費電力 (kWh/ 年)	127	100	71	63	47
区分	複合機b	複合機b	複合機a	複合機a	複合機a
 補足 ■ 省エネ法 (平成25年3月1日付) で定められた測定方法による数値。 ■ 65～70機は「省エネ法」の対象外です。					
大きさ	65～70機	幅620×奥行793×高さ1,169 mm			
	25～55機	Model-P : 幅620×奥行723×高さ1,040 mm Model-PFS : 幅620×奥行723×高さ1,141 mm Model-PFS-2TS : 幅620×奥行723×高さ970 mm			
質量	C7070/C6570	153 kg			
	C5570/C4570	Model-PFS : 132 kg、Model-PFS-2TS : 120 kg			
	C3570/C3070/C2570	Model-P: 121 kg、Model-PFS: 132 kg、Model-PFS-2TS: 120 kg			
機械占有寸法	C7070/C6570	C5570/C4570/C3570/C3070/C2570			
	幅1,141×奥行793 mm ^{*1}	Model-P : 幅1,056×奥行723 mm ^{*2} Model-PFS : 幅1,072×奥行723 mm ^{*1} Model-PFS-2TS : 幅1,072×奥行723 mm ^{*1}			
^{*1} : 手差しトレイを最大に伸ばして、自動両面原稿送り装置ストッパーを開いたとき。					
^{*2} : 手差しトレイを最大に伸ばしたとき。					

プリント機能

項目	仕様		
形式	内蔵型		
連続プリント速度	基本機能/コピー機能に準ずる		
	 補足 ■ 画質調整のため、速度が低下することがあります。 ■ ドキュメントによっては、生産性が落ちることがあります。		
書き込み解像度	ART EX ドライバー	標準	1,200×2,400 dpi
		高画質	1,200×2,400 dpi
		高精細	1,200×1,200 dpi
	Adobe® PostScript® 3™ ドライバ	高速（標準）	600×600 dpi
		高画質	1,200×2,400 dpi
		高精細	1,200×1,200 dpi
ページ記述言語	標準：ART EX、オプション：Adobe PostScript 3		
対応プロトコル	Ethernet：TCP/IP（lpd、IPP、Port9100、WSD、BMLinkS、ThinPrint）		
対応OS	最新のOSについては、弊社公式サイトのダウンロードサービスから、ご使用の機種のパージをご覧ください。		
内蔵フォント	標準	日本語2書体（平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5）、欧文19書体	
	オプション	• Adobe® PostScript® 3™ キット 平成2書体版： 日本語2書体（平成明朝体 W3、平成角ゴシック体 W5）、欧文136書体 モリサワ2書体版： 日本語2書体（リュウミンL-KL、中ゴシックBBB）、欧文136書体 • エミュレーションキット ストロークフォント（日本語書体、欧文書体：HP-GL用）、欧文82書体、シンボル37セット	
エミュレーション	標準	PDF、XPS、DocuWorks、TIFF、JPEG、ART IV、ESC/P（VP-1000）、BMLinkS	
	オプション	 補足 「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。 PC-PR201H、PCL（HP-CLJ5500）、HP-GL（7586B、またはDJ750C Plus）、HP-GL/2（DJ750C Plus）	
インターフェイス	標準	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB 3.0	
	オプション	無線LAN（IEEE 802.11 a / b / g / n / ac）	

スキャン機能

項目	仕様	
形式	カラスキャナー	
原稿サイズ	基本機能/コピー機能に準ずる	
読み取り解像度	600×600 dpi、400×400 dpi、300×300 dpi、200×200 dpi	
原稿読み取り速度	自動両面原稿送り装置の「原稿読み取り速度」に準ずる	
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T	
ボックス保存	対応プロトコル	TCP/IP (WebDAV、HTTP)
	出力フォーマット	モノクロ2値：TIFF、DocuWorks ^{*1} 、PDF ^{*1} グレースケール：TIFF、JPEG ^{*2} 、DocuWorks ^{*1} 、PDF ^{*1} フルカラー：TIFF、JPEG、DocuWorks ^{*1} 、PDF ^{*1} 、高圧縮DocuWorks ^{*1} 、高圧縮PDF ^{*1} ^{*1} ：CentreWare Internet Services 利用時 ^{*2} ：ネットワークスキャナーユーティリティ 3 利用時
	ドライバー	TWAIN インターフェイス対応
	対応OS	最新のOSについては、弊社公式サイトのダウンロードサービスから、ご使用の機種種のページをご覧ください。
PC 保存	対応プロトコル	TCP/IP (SMB、FTP)
	出力フォーマット	モノクロ2値：TIFF、DocuWorks、PDF グレースケール/フルカラー：TIFF、JPEG、DocuWorks、PDF、高圧縮DocuWorks、高圧縮PDF、Word [*] 、Excel [*] [*] ：オプション
	対応OS	最新のOSについては、弊社公式サイトのダウンロードサービスから、ご使用の機種種のページをご覧ください。
メール送信	対応プロトコル	TCP/IP (SMTP)
	出力フォーマット	PC保存と同じ

ファクス機能

基本機能

項目		仕様
送信原稿サイズ		最大：A3、11×17"、長尺原稿可（最大 600 mm）
記録紙サイズ		最大：A3、11×17"、最小：A5
電送時間		2 秒台 💡 補足 A4 判 700 字程度の原稿を、標準画質（8×3.85 本/mm）、高速モード（28.8 kbps 以上：JBIG）送信時。画像情報だけの伝送時間で、通信の制御時間は含まれていません。なお、実際の通信時間は原稿の内容、相手機種、回線の状況により異なります。
通信モード		ITU-T G3
走査線密度	標準	8×3.85 本/mm、200×100 dpi
	高画質	8×7.7 本/mm、200×200 dpi
	超高画質（400 dpi）	16×15.4 本/mm、400×400 dpi
	超高画質（600 dpi）	600×600 dpi
符号化方式		MH、MR、MMR、JBIG
通信速度		G3：33.6/31.2/28.8/26.4/24.0/21.6/19.2/16.8/14.4/12.0/9.6/7.2/4.8/2.4 kbps
適用回線		加入電話回線、PBX、ファクシミリ通信網（PSTN）、最大 3 ポート（G3：3 ポート） 💡 補足 接続可能な回線数は最大 3 回線です。ポートとは通信可能なチャンネル数です。

ダイレクトファクス

項目	仕様
送信原稿サイズ	A3、B4、A4
送信画質	基本機能の走査線密度に準ずる
通信速度	基本機能に準ずる
適用回線	基本機能に準ずる
対応 OS	最新の OS については、弊社公式サイトダウンロードサービスから、ご使用の機種 のページをご覧ください。

インターネットファクス

項目	仕様
送信原稿サイズ	A3、B4、A4
走査線密度	基本機能に準ずる
出力フォーマット	フォーマット：TIFF-FX、圧縮方式：MH、MMR、JBIG
プロファイル	TIFF-S、TIFF-F、TIFF-J
対応プロトコル	送信：SMTP、受信：SMTP、POP3
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T

IPファクス（SIP）

項目	仕様
送信原稿サイズ	基本機能に準ずる
走査線密度	基本機能に準ずる
対応プロトコル	SIP、JT-T.38
符号化方式	基本機能に準ずる
インターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T

自動両面原稿送り装置

B1-PC

項目	仕様
原稿送り装置の種類	1パス両面原稿送り装置
原稿読み取り速度（コピー時）	連続複写速度に準ずる
原稿読み取り速度（スキャン時）	モノクロ：80枚/分、カラー 80枚/分 （1パス両面読み取り時は、モノクロ：154ページ/分、カラー：154ページ/分）  補足 ■ 当社標準原稿（A4）を 200 dpi で、親展ボックスに保存する場合の数値です。 ■ 静音モード無効時は、モノクロ：160ページ/分、カラー：160ページ/分になります。工場出荷時に静音モード有効で設定されています。

C2-PC

項目	仕様
原稿送り装置の種類	1パス両面原稿送り装置
原稿読み取り速度（コピー時）	連続複写速度に準ずる
原稿読み取り速度（スキャン時）	モノクロ：135枚/分、カラー：135枚/分 （1パス両面読み取り時 モノクロ：270ページ/分、カラー：270ページ/分）  補足 当社標準原稿（A4）を 200 dpi で、親展ボックスに保存する場合の数値です。

封筒/はがきトレイ

項目	仕様
大きさ/質量	幅620×奥行566×高さ87 mm、3 kg

サイドトレイ

項目	仕様
大きさ/質量	幅324×奥行567×高さ228 mm、1.3 kg

安全にご利用いただくために

 **参照** 併せて、『取扱説明書』を参照してください。

設置時の注意



本機の使用環境は次のとおりです。

温度：10～32℃

湿度：15～85%

ただし冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、本機内部に水滴が付着し部分的に印字、または画像読み取りができない場合があります。

環境について

- 回収した消耗品は、環境保護・資源有効活用のため、部品の再使用、材料としてのリサイクル、熱回収などの再資源化を行っています。
- 不要となった消耗品は、適切な処理が必要です。
消耗品は、無理に開いたりせず、必ず弊社、または販売店にお渡しください。
- 粉塵、オゾン、ベンゼン、スチレン、総揮発性有機化合物（TVOC）の放散については、エコマーク複写機・プリンタなどの画像機器の物質エミッションの放散に関する認定基準を満たしています。試験方法はドイツ環境ラベルのBlue Angelに基づき試験を実施しました。

サポートについて

弊社は本製品の補修用性能部品（機械の機能を維持するために必要な部品）を機械本体の製造終了後 7 年間保有しています。

法律上の注意事項

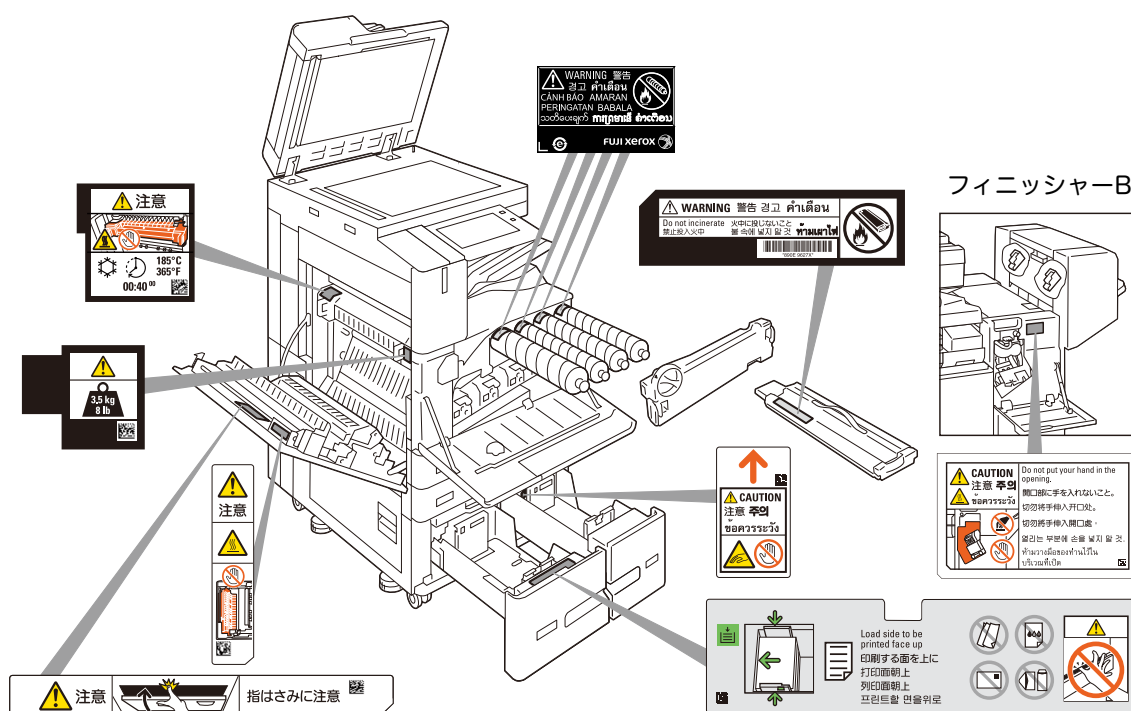
- 1 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証券、地方債証券、郵便為替証券、郵便切手、印紙。
これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。
 - 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。
- 2 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。
 - 各種の証明書類など、公務員、または役所を作成名義人とする文書・図面。
 - 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。
 - 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。
 - 役所、または公務員の印影、署名、記名。
 - 私人の印影、または署名。
- 3 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、地図、図面、写真などの著作物は、法律に定める例外にあたる場合*を除き、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

- (1) 複製 紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。
- (2) 改変 紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。
- (3) 送信 電子的に読み取った著作物のデータを、インターネットその他の公衆の電気通信回線を通じて電子メールやファクシミリで送信すること、Web サイトへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを格納することなど。

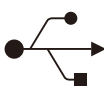
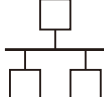
：* 法律に定める例外にあたる場合の例

- 個人的、または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的として、複製する場合。
- 国立図書館、私立図書館、学校附属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等が複製する場合。
- 学校その他教育機関において教員、または授業の受講者が授業で使用するために複製する場合。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

警告、および注意ラベルの貼り付け位置



本機で使用している記号

	注意、危険、警告		窓付きの封筒を使用しないこと		トナーカートリッジを火中に投じないこと
	高温注意		はがきを使用しないこと		トナー回収ボトルを火中に投じないこと
	指挟み注意		折り目、しわ、カール紙を使用しないこと		“  ”スイッチ：スタンバイ
	接触禁止		ホチキス、クリップを使用した用紙を使用しないこと		重量
	指挟み注意		お金をコピーしないこと		冷却
	インクジェット紙を使用しないこと		USB		経過時間
	封筒を使用しないこと		LAN		